

医科新型コロナウイルス感染拡大の
影響に関する緊急アンケート
(概要)

2020年6月4日
三重県保険医協会

調査概要

1 目的

今般の新型コロナウイルス感染の拡大は長期化が予測され、今後はより多くの一般医療機関の日常診療への影響が懸念されている。

保険医協会及び全国保険医団体連合会では、会員医療機関の実情を把握して諸課題を発信し、医療行政等に反映させるべくアンケート調査を実施した。

2 対象

医科の開業医会員（922名）

3 回収数

124人（回収率 13.4%）

4 方法

アンケート用紙を郵送し、FAXで回答を送付。

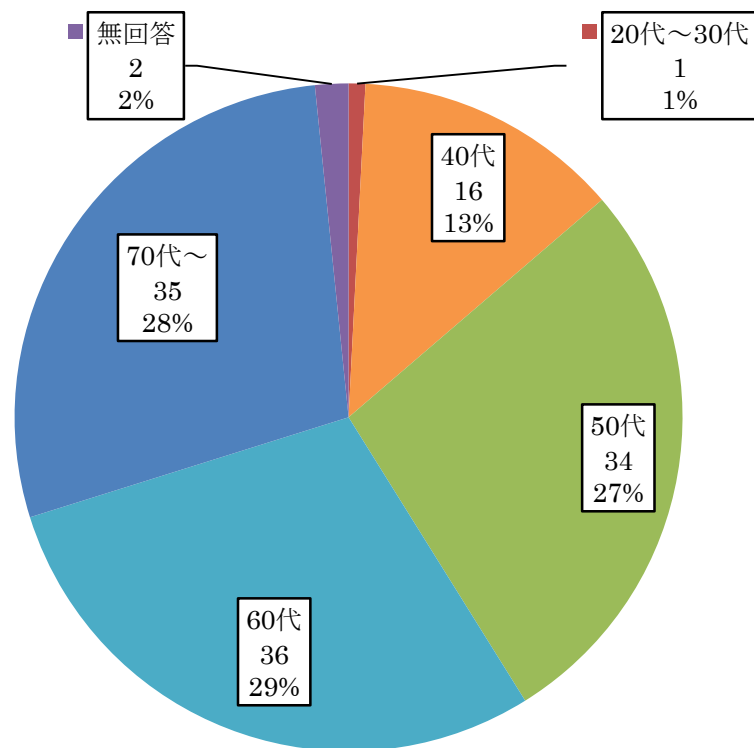
5 期間

2020年5月1日（金）～5月15日（金）

1. 基本事項

「20代～30代」1名、「40代」16名、「50代」34名、「60代」36名、「70代～」35名、「無回答」2名、計124名から回答があった。

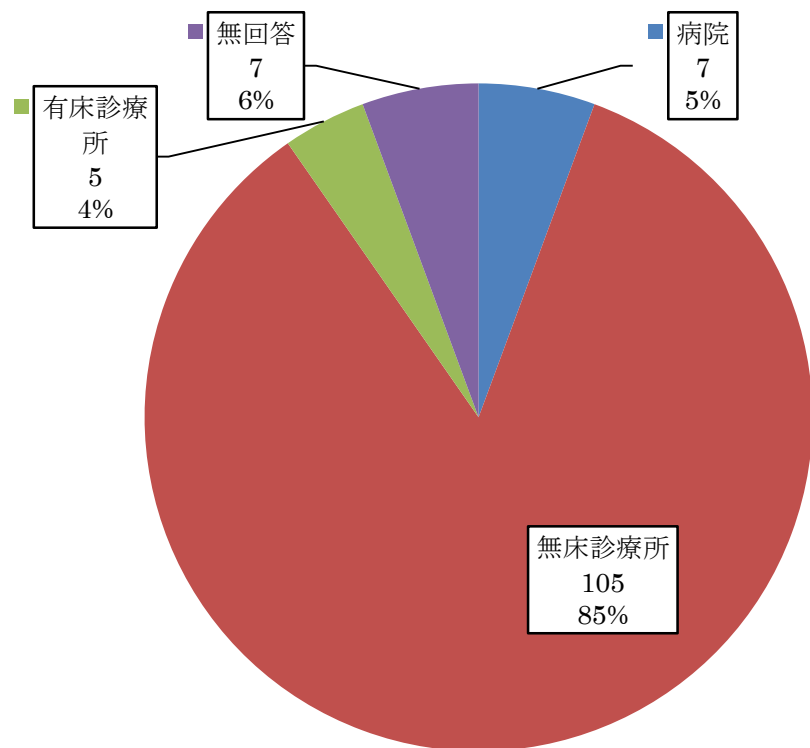
① 先生の年齢 (n = 124)



1. 基本事項

回答者のうち、「病院」が5%、「無床診療所」が85%、「有床診療所」が4%であった。

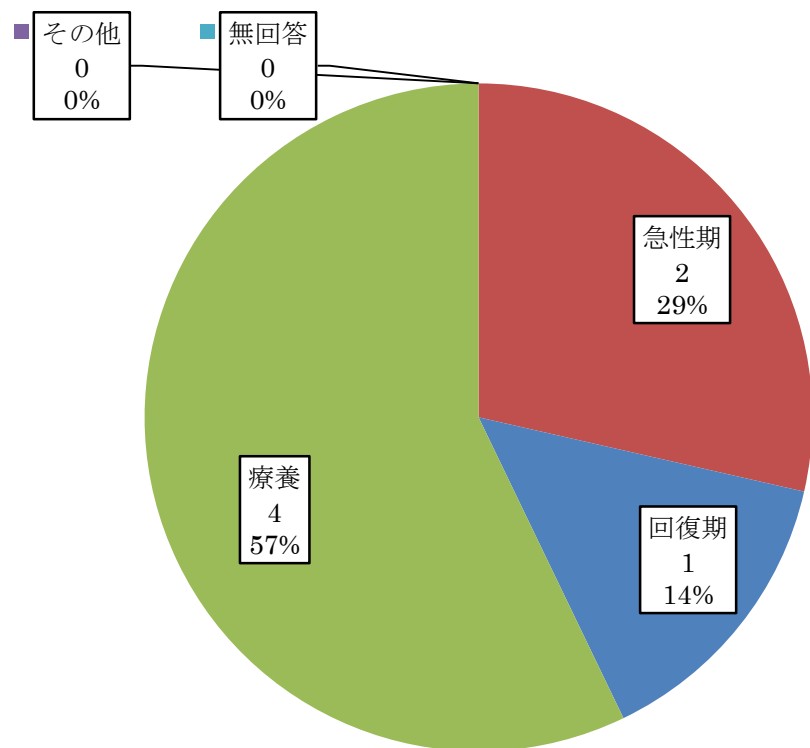
③ 医療機関形態 (n = 124)



1. 基本事項

病院のうち、「急性期」が 29%、「回復期」が 14%、「療養」が 57%であった。

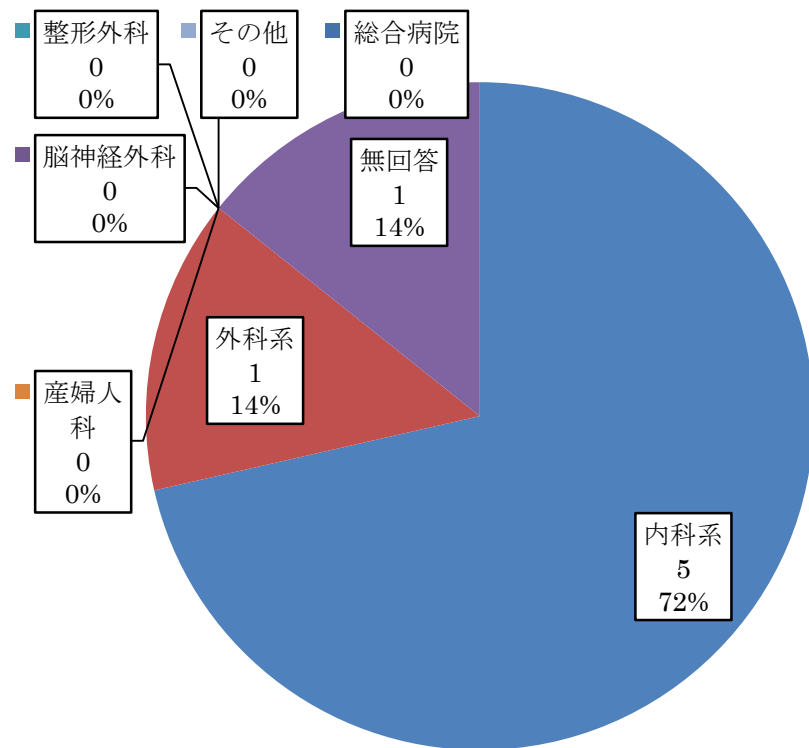
④ - 1 病院の主な病床機能 (n = 7)



1. 基本事項

病院のうち、「内科系」が72%、「外科系」が14%であった。

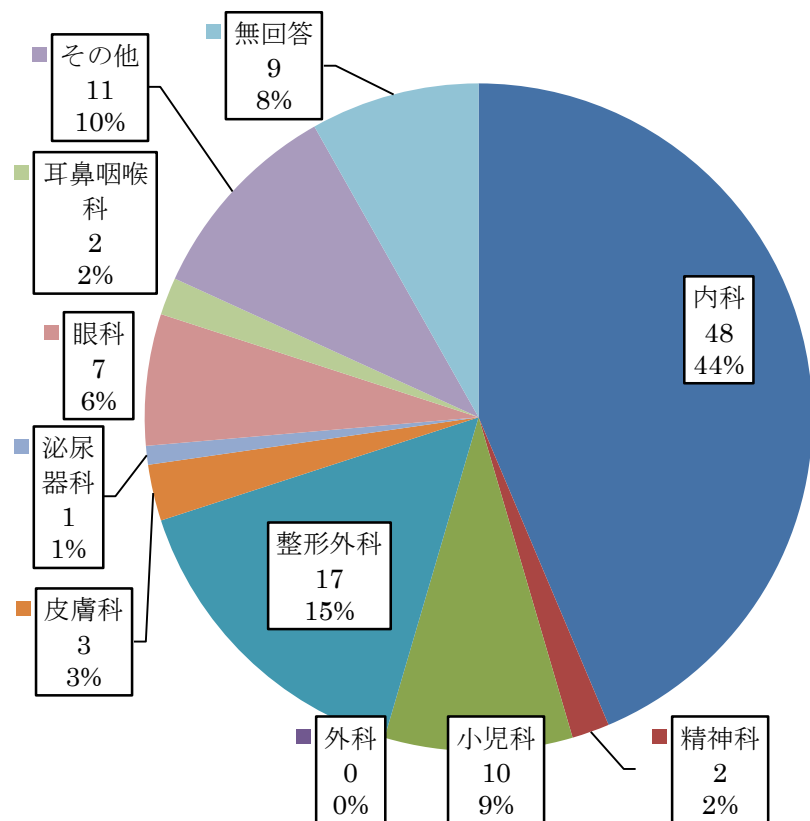
④ - 2 病院の主な診療科 (n = 7)



1. 基本事項

診療所のうち、「内科」が 44%、「精神科」が 2%、「小児科」が 9%、「整形外科」が 15%、「皮膚科」が 3%、「泌尿器科」が 1%、「眼科」が 6%、「耳鼻咽喉科」が 2%であった。

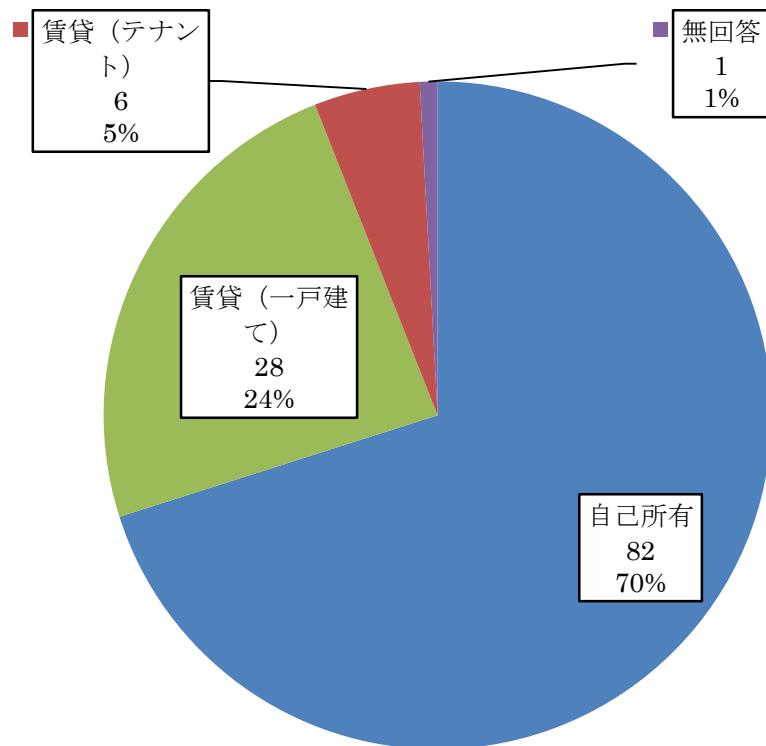
⑤ 診療所の主な標榜科 (n = 110)



1. 基本事項

「病院」・「診療所」のうち、「自己所有」が 70%、「賃貸（一戸建て）」が 24%、「賃貸（テナント）」が 5%であった。

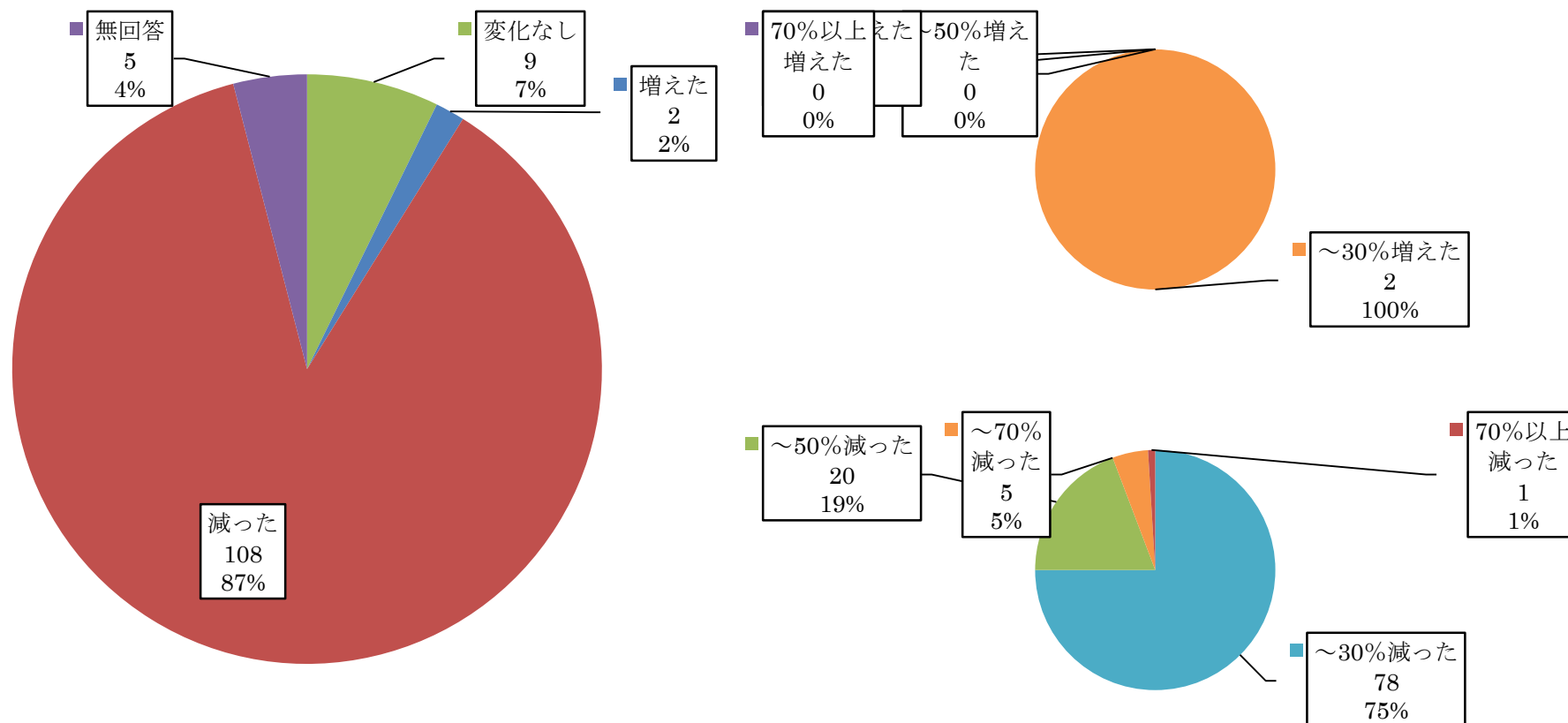
⑥ 診療所の土地・建物（n = 117）



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

回答者のうち、「変化なし」が7%、「増えた」が2%、「減った」が87%であった。外来患者数が増えた回答者のうち、「～30%」が100%、減った回答者のうち、「～30%」が75%であった。

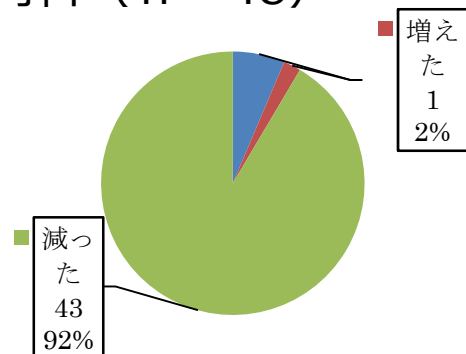
① 外来患者数（n = 124）



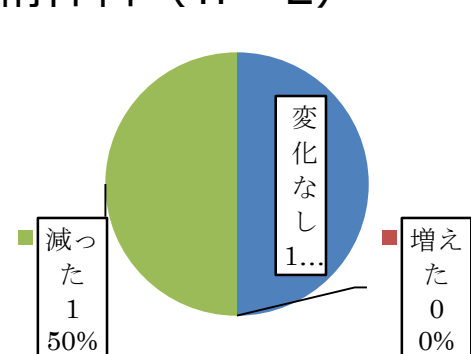
2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

内科の回答者のうち、「減った」が92%、小児科・整形外科の回答者のうち、「減った」が100%であった。

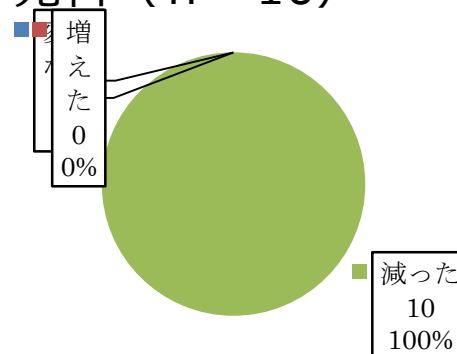
内科（n = 48）



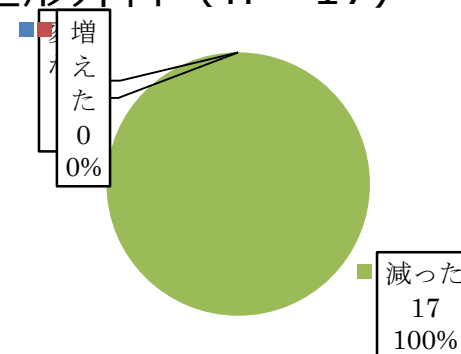
精神科（n = 2）



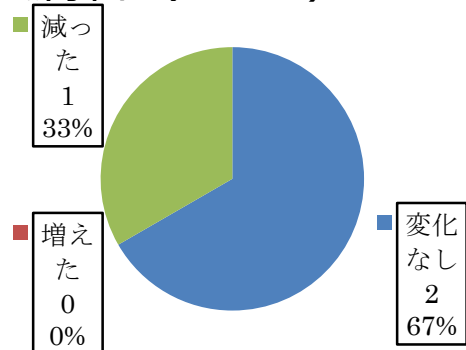
小児科（n = 10）



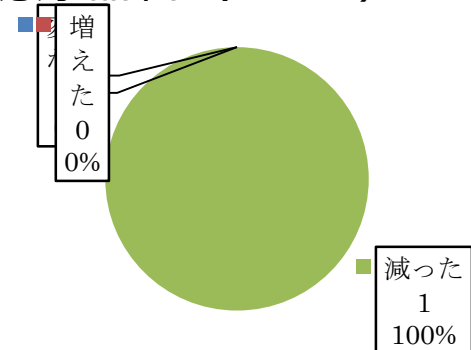
整形外科（n = 17）



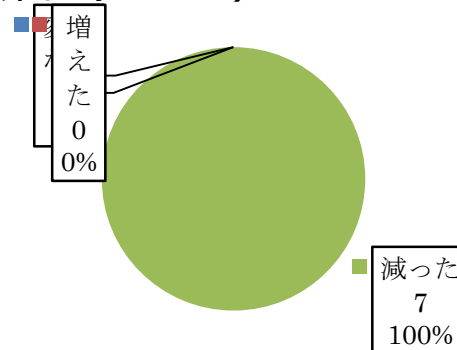
皮膚科（n = 3）



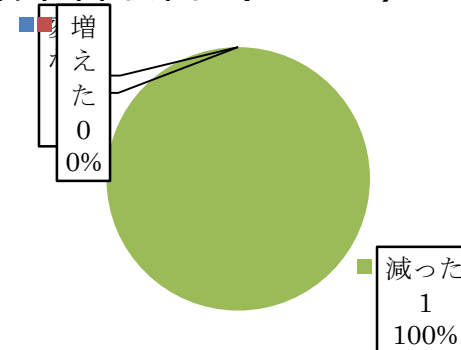
泌尿器科（n = 1）



眼科（n = 7）



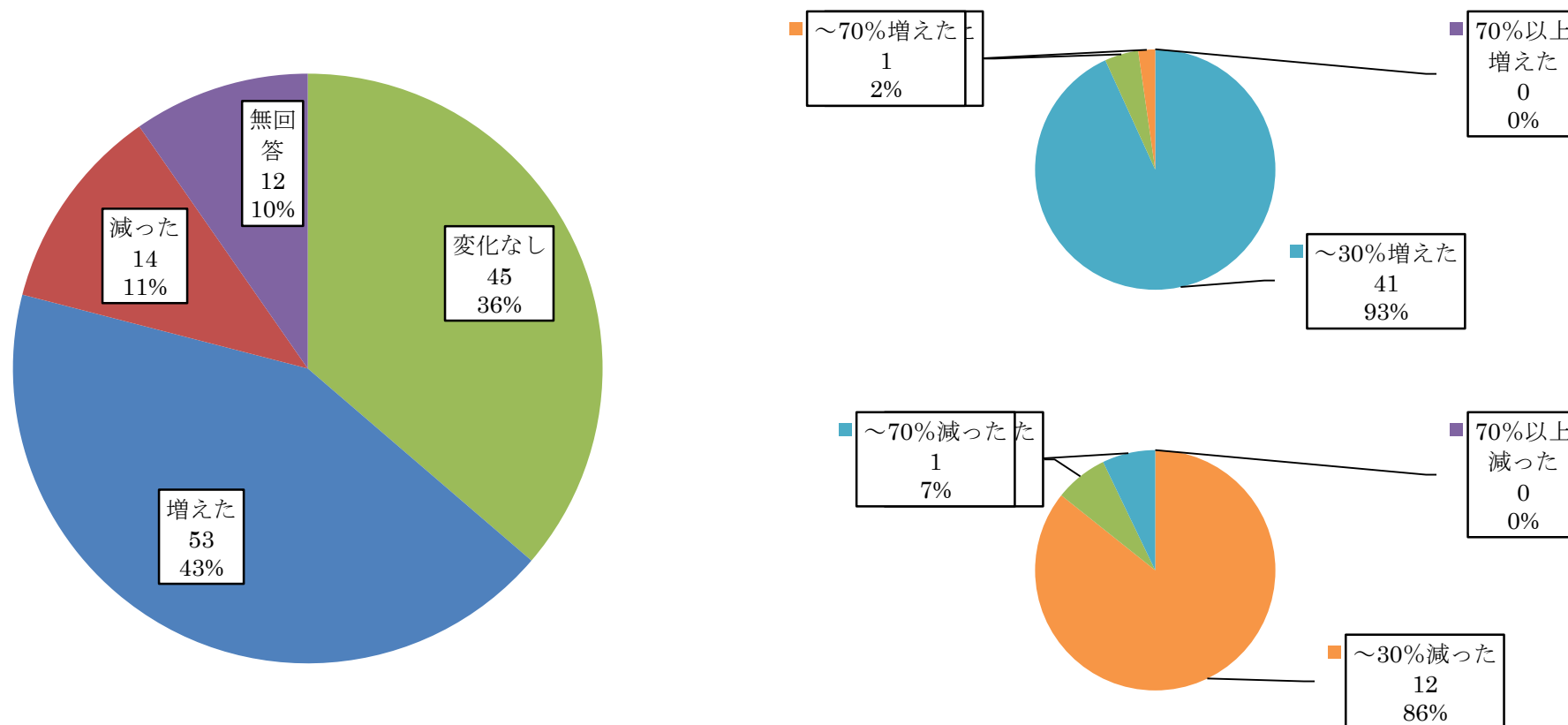
耳鼻咽喉科（n = 2）



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

回答者のうち、「変化なし」が36%、「増えた」が43%、「減った」が11%であった。患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数が増えた回答者のうち、「～30%」が93%、減った回答者のうち、「～30%」が86%であった。

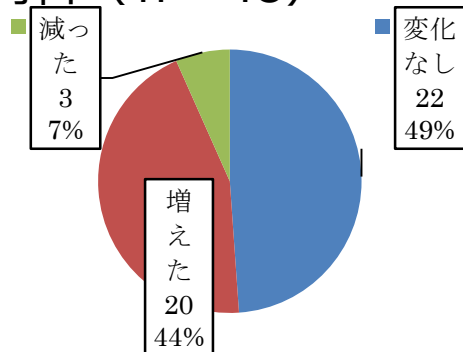
② 患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数（n = 124）



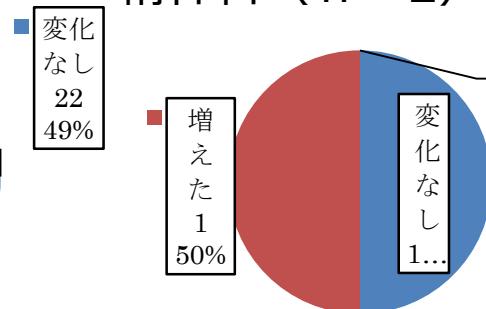
2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

内科の回答者のうち、「変化なし」が49%、「増えた」が44%、小児科の回答者のうち、「変化なし」が50%、「増えた」が50%、整形外科の回答者のうち、「変化なし」が33%、「増えた」が47%、「減った」が20%であった。

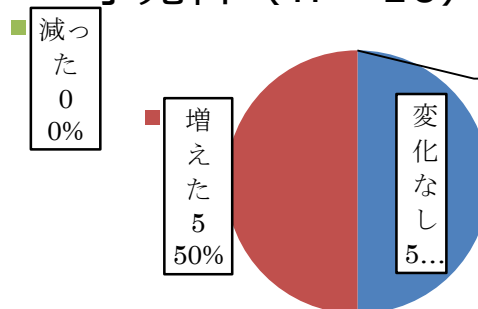
内科（n = 48）



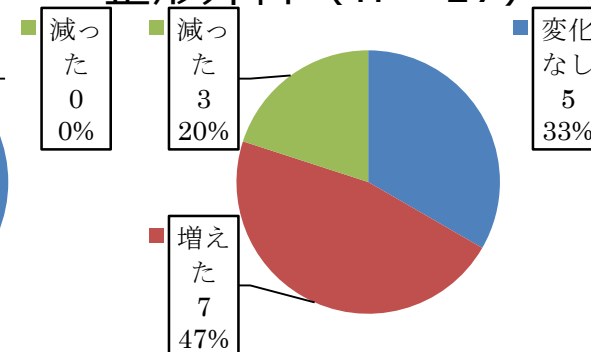
精神科（n = 2）



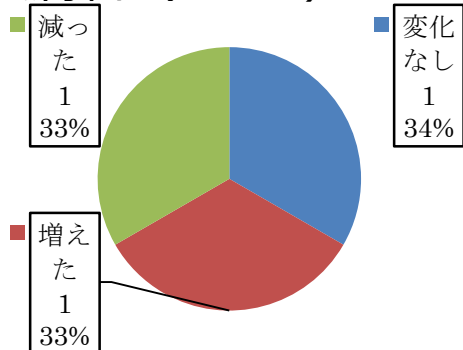
小児科（n = 10）



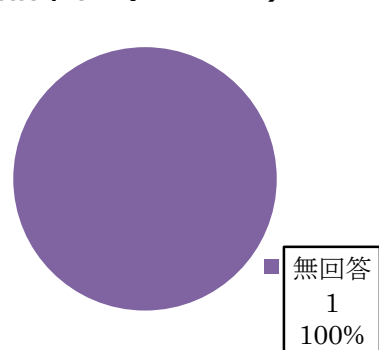
整形外科（n = 17）



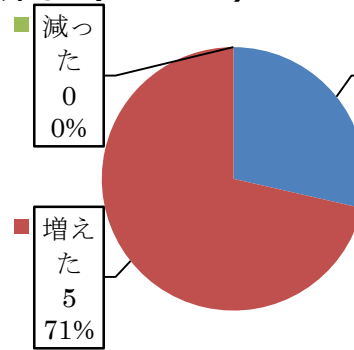
皮膚科（n = 3）



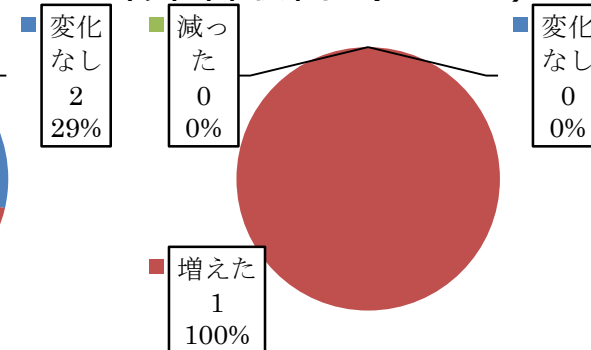
泌尿器科（n = 1）



眼科（n = 7）



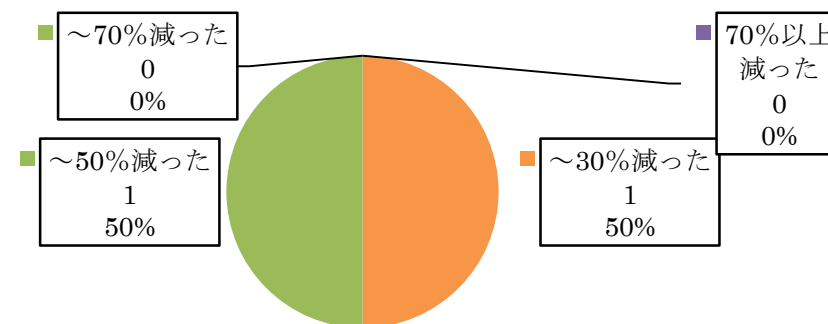
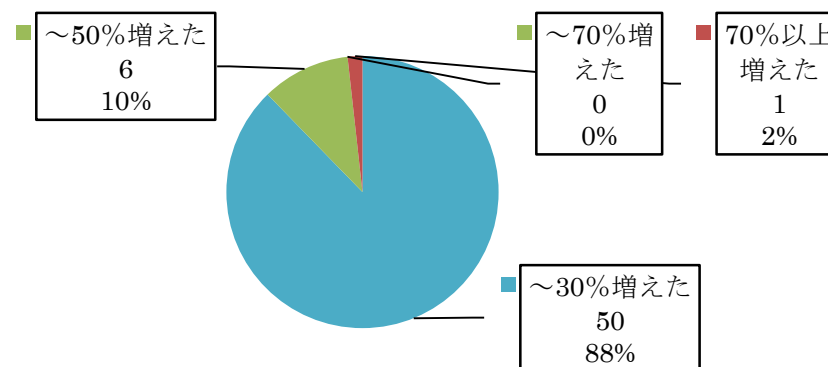
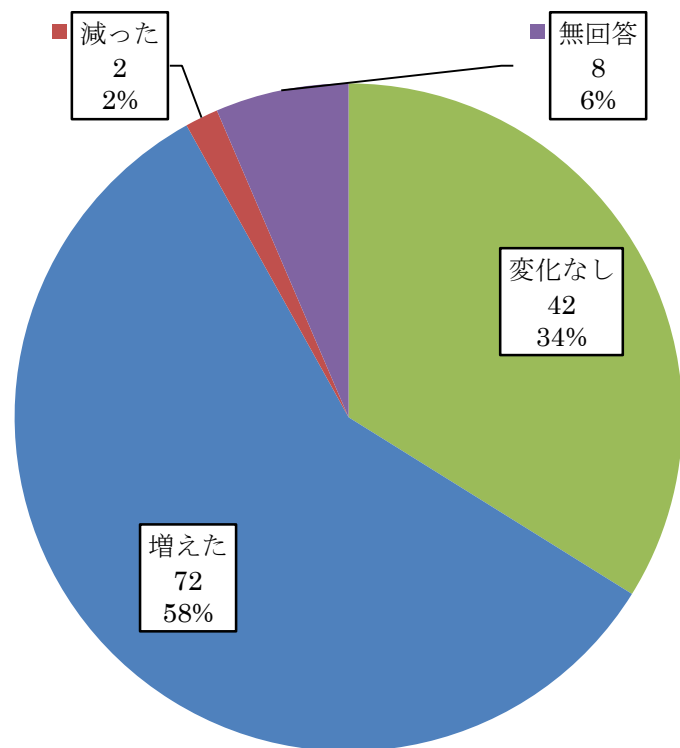
耳鼻咽喉科（n = 2）



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

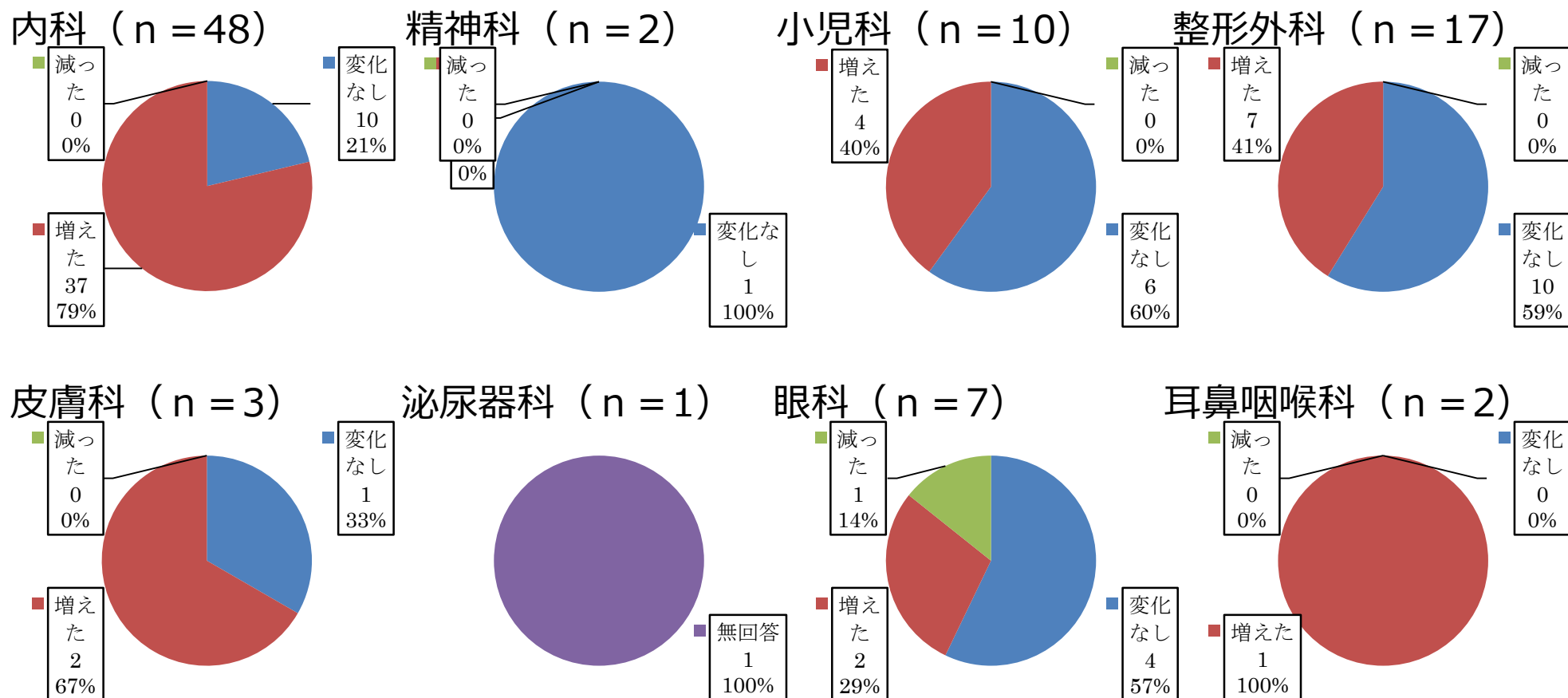
回答者のうち、「変化なし」が34%、「増えた」が58%、「減った」が2%であった。電話再診件数が増えた回答者のうち、「～30%」が88%、減った回答者のうち、「～30%」が50%、「～50%」が50%であった。

③ 電話再診件数（n = 124）



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

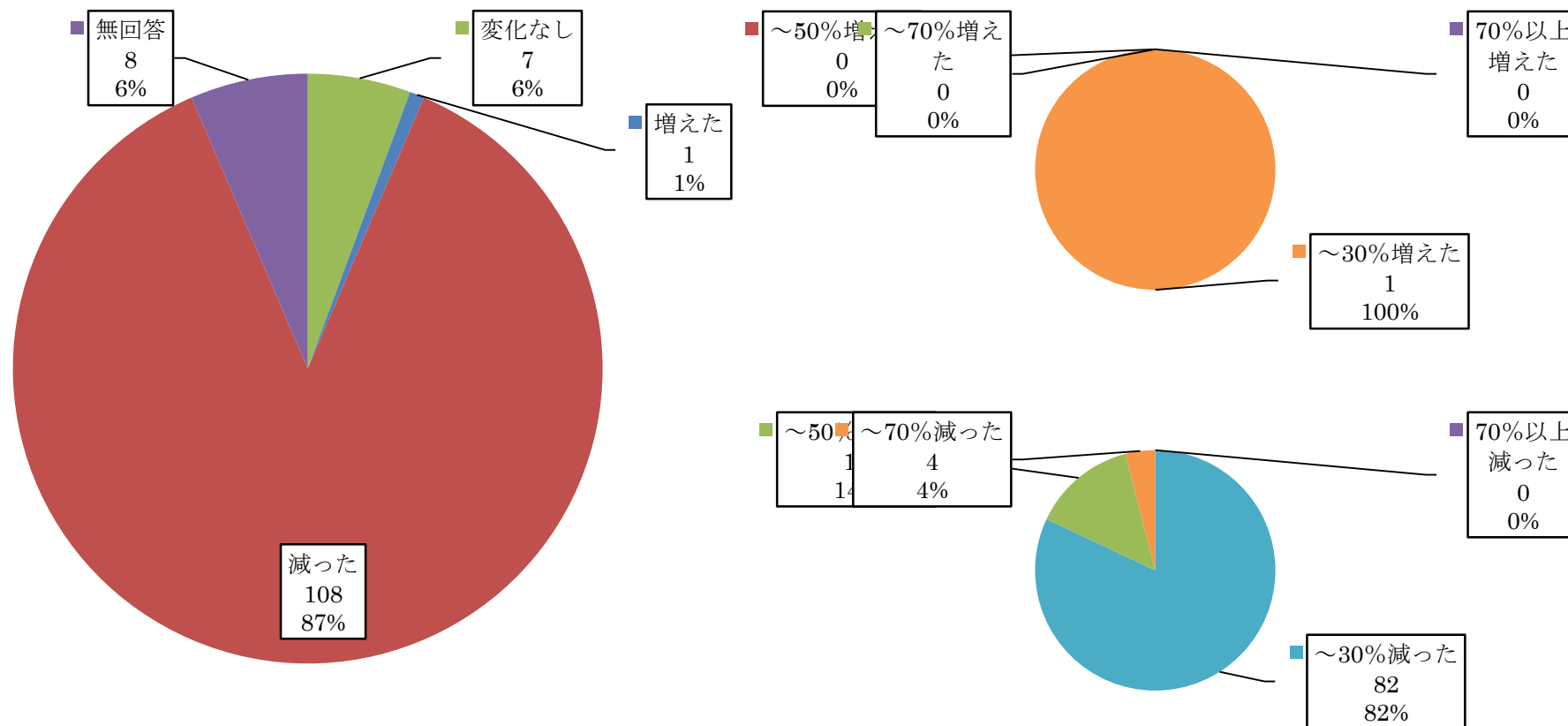
内科の回答者のうち、「変化なし」が21%、「増えた」が79%、小児科の回答者のうち、「変化なし」が60%、「増えた」が40%、整形外科の回答者のうち、「変化なし」が59%、「増えた」が41%であった。



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

回答者のうち、「変化なし」が6%、「増えた」が1%、「減った」が87%であった。保険診療収入が増えた回答者のうち、「～30%」が100%、減った回答者のうち、「～30%」が82%であった。

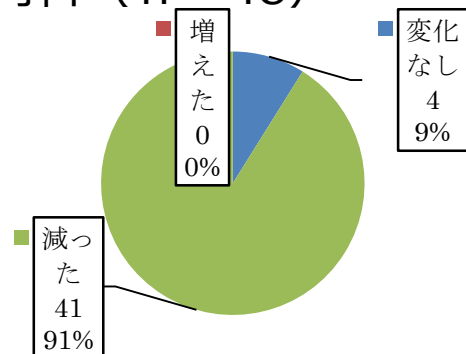
④ 保険診療収入（n = 124）



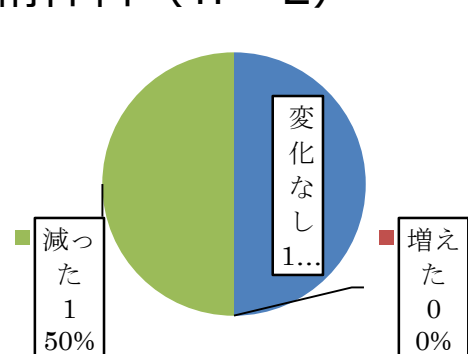
2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

内科の回答者のうち、「減った」が91%、小児科・整形外科の回答者のうち、「減った」が100%であった。

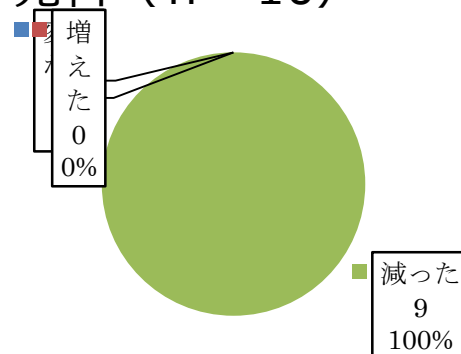
内科（n = 48）



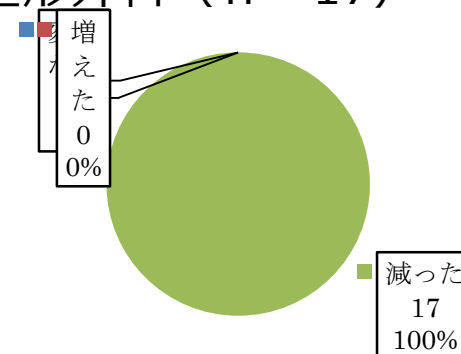
精神科（n = 2）



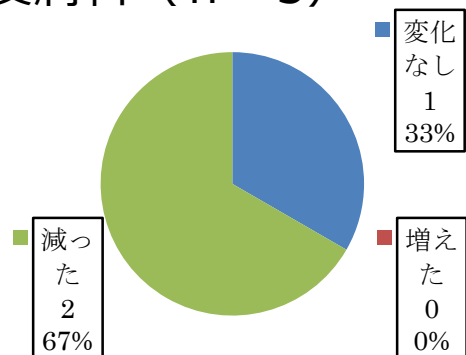
小児科（n = 10）



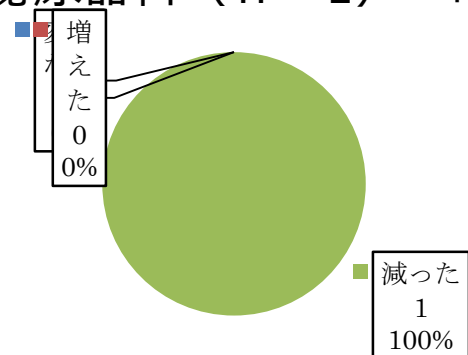
整形外科（n = 17）



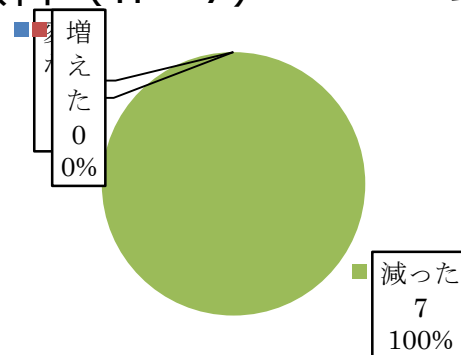
皮膚科（n = 3）



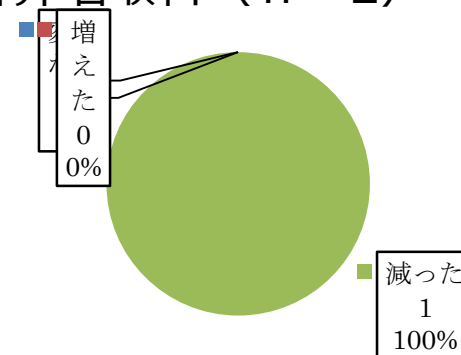
泌尿器科（n = 1）



眼科（n = 7）



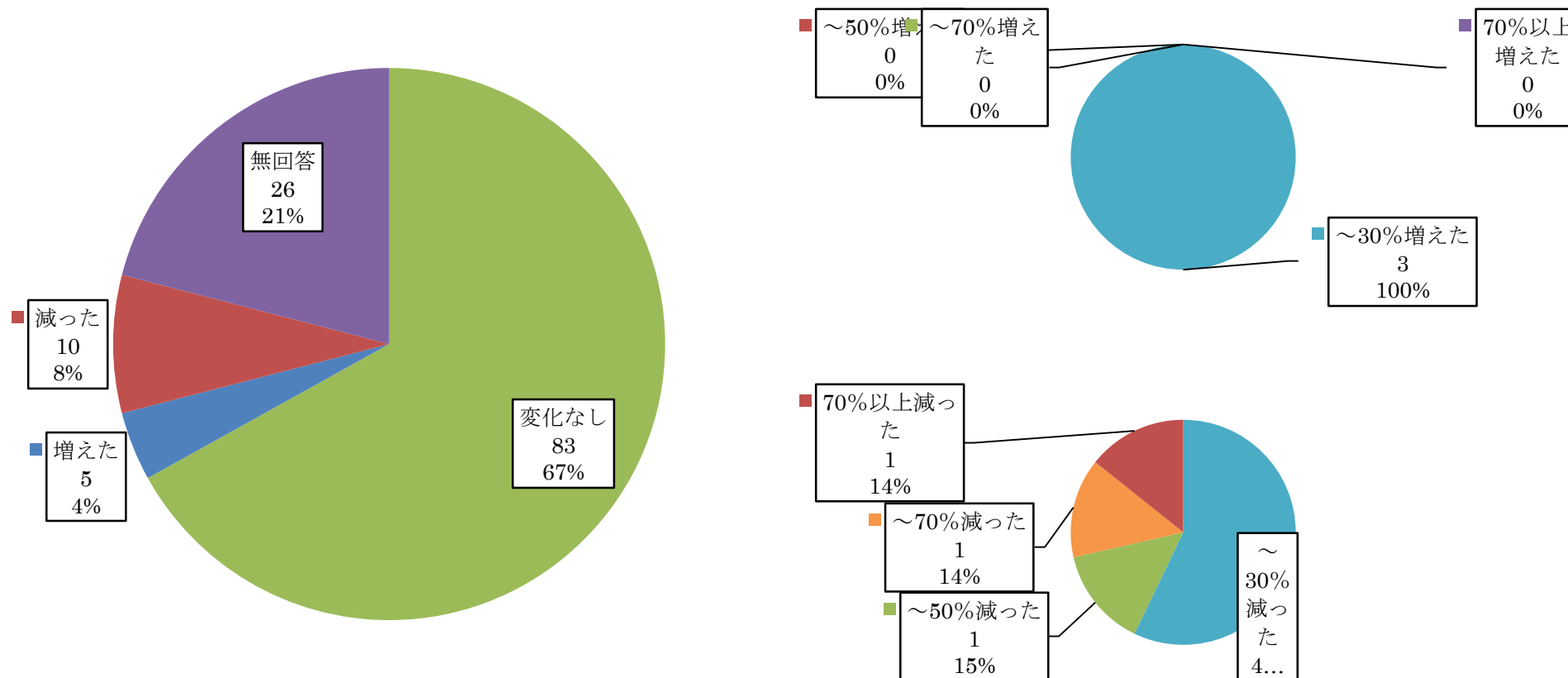
耳鼻咽喉科（n = 2）



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

回答者のうち、「変化なし」が67%、「増えた」が4%、「減った」が8%であった。在宅・訪問診療件数が増えた回答者のうち、「～30%」が100%、減った回答者のうち、「～30%」が57%であった。

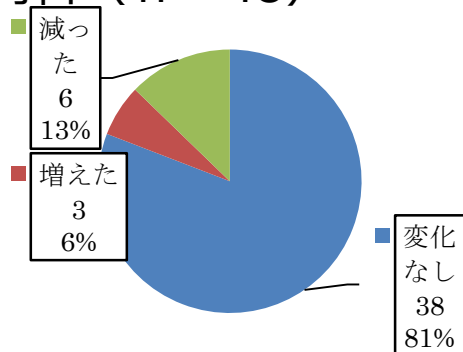
⑤ 在宅・訪問診療件数（n = 124）



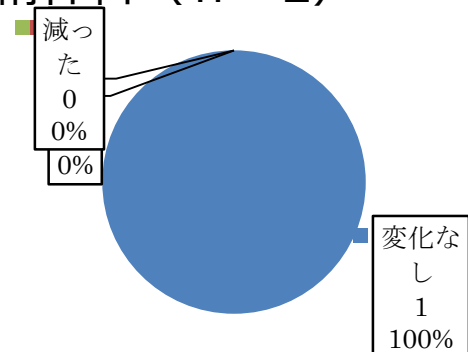
2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

内科の回答者のうち、「変化なし」が81%、「減った」が13%、小児科の回答者のうち、「変化なし」が100%、整形外科の回答者のうち、「変化なし」が90%、「減った」が10%であった。

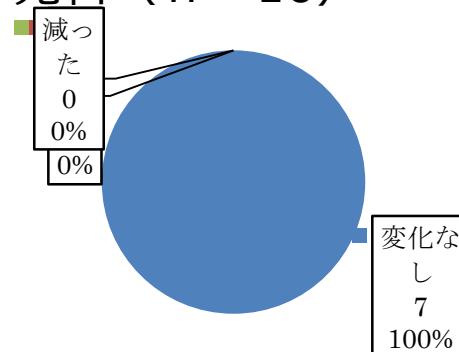
内科（n = 48）



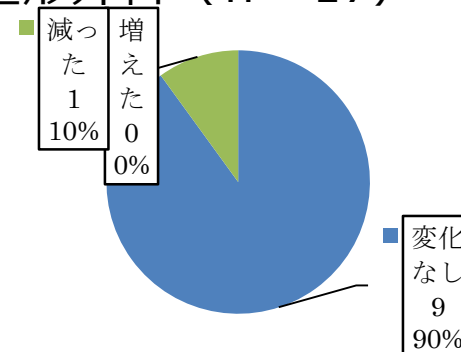
精神科（n = 2）



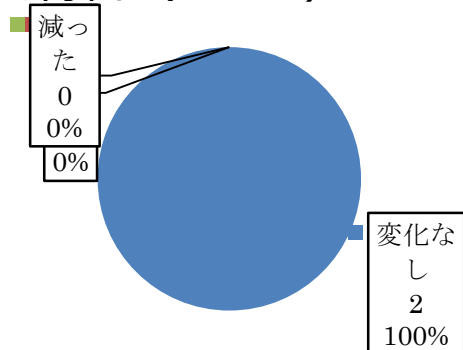
小児科（n = 10）



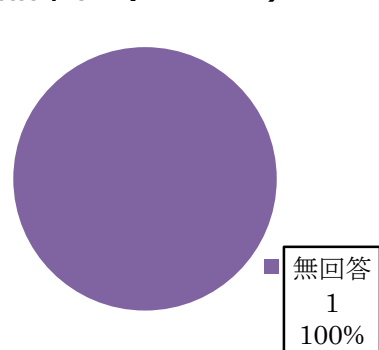
整形外科（n = 17）



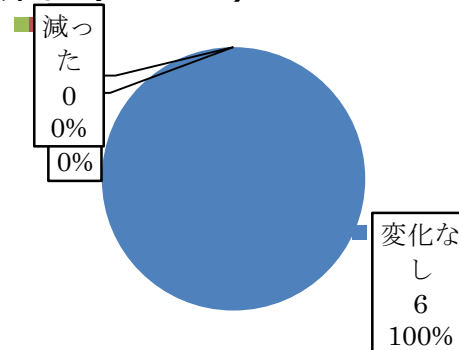
皮膚科（n = 3）



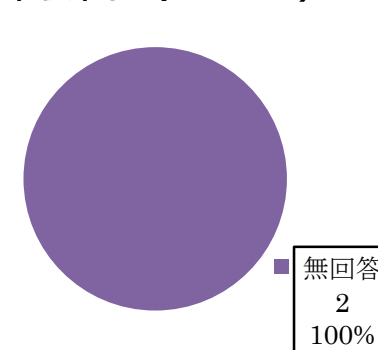
泌尿器科（n = 1）



眼科（n = 7）



耳鼻咽喉科（n = 2）



2. 診療情報（今年4月と前年4月との比較）

⑥ 患者さんの受診手控え、訪問診療先から断られる等、お気づきの点、お困りの点がありましたらご記入ください。

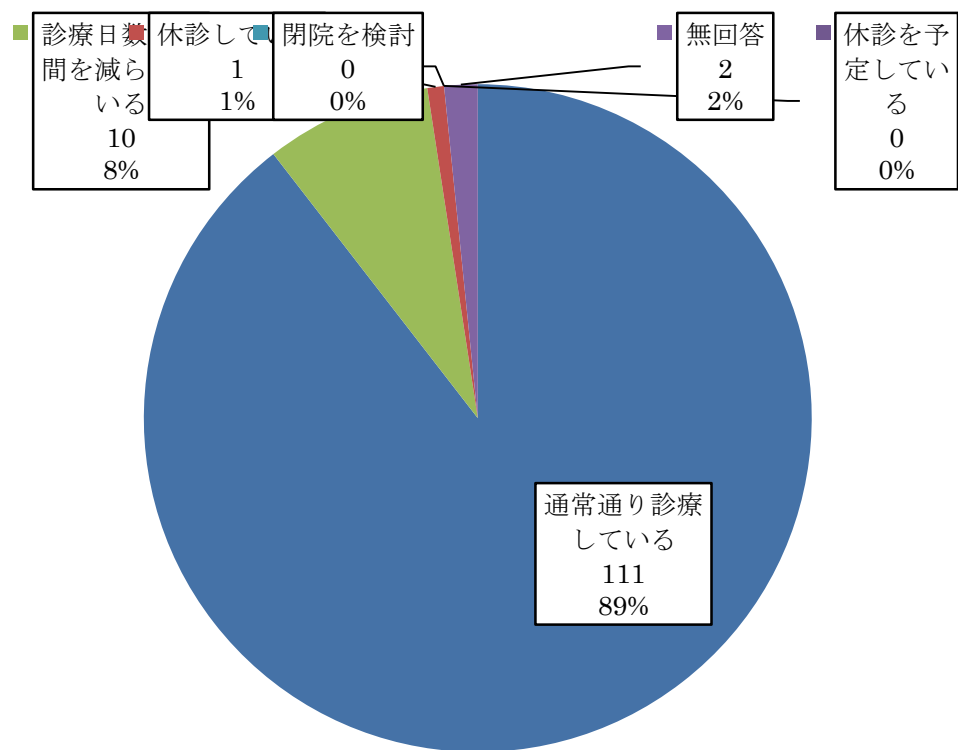
- ・ 早々に精査頂きたい方も先送りの受診を希望され手遅れとなり易い。Af→cerebral infarction lem:plegra
- ・ 高齢者の受診が減った
- ・ 発熱、呼吸器症状 etc の患者さんの診療（問診主体）を院内駐車場で行っていきます。投薬とアドバイスをしています
- ・ お薬受診が増えた
- ・ 子供の世話のためやや受診しにくい患者さんが少々あり
- ・ 新規若者の Tel 相談が増えた
- ・ 院内感染を心配し受診を控えられているのだと思う。対策はしているつもりだけで
- ・ 受診手控え有
- ・ 超高齢者は受診を抑えています
- ・ コロナがこわいので受診したくない病院に行きたくないと予約検査をキャンセルされたり、予防接種をキャンセルされたりします。不要な処方も多く欲しいと言われます
- ・ 長期処方を要求される（受診回数を減らしてほしいとの要求）
- ・ 不要不急の受診が減った？病状が悪化してからの受診が心配
- ・ 外来減、救急減しかし訪問診療はあまり変化ない

- ・明らかな受診の手控えを感じます。どうしても切れない薬をある程度電話でのやりとりで投薬し、変化ある時には必ず受診を約束していますが…
- ・感冒様症状、発熱患者の来院は減った
- ・感染症罹患のリスクについて不安を訴える人が増加している
- ・コロナのこともありますが、景気の悪化により受診ひかえの傾向もあります
- ・電話対応や車内での診療など時間がかかって忙しくなったのに検査や処置ができず、指導管理料も算定できないので収入が減った。今後も続くと思うと不安
- ・近隣の診療所で受診拒否が多い為当院への発熱咳の受診が増えてしまっている。対応はするものの一開業医としての対応に限界がある。備品にも限りがある
- ・当院でコロナ患者が出たとネットに流れた
- ・長期処方も増えた
- ・受診の手控えはあります
- ・受診手控えはあるようです
- ・軽症者は診療所に来なくなった
- ・原則、薬のみは、断わっています。認める、認めないの線引きが困難。元来より受診間隔をあけているので定期受診は必要の旨
- ・東京、大阪から帰省した人の受診が一時増え、対応にこまった
- ・長期投薬を頼まれることが多い（2ヶ月以上）
- ・コロナ対策による一時的な予約延期や電話診療なら良いですが今後オンライン診療が当たり前のような認識になるのを危惧しています。オンライン診療はリスクも高いです

3. 診療の状況に関して

回答者のうち、「通常通り診療している」が89%、「診療日数・時間を減らしている」が8%、「休診している」が1%であった。

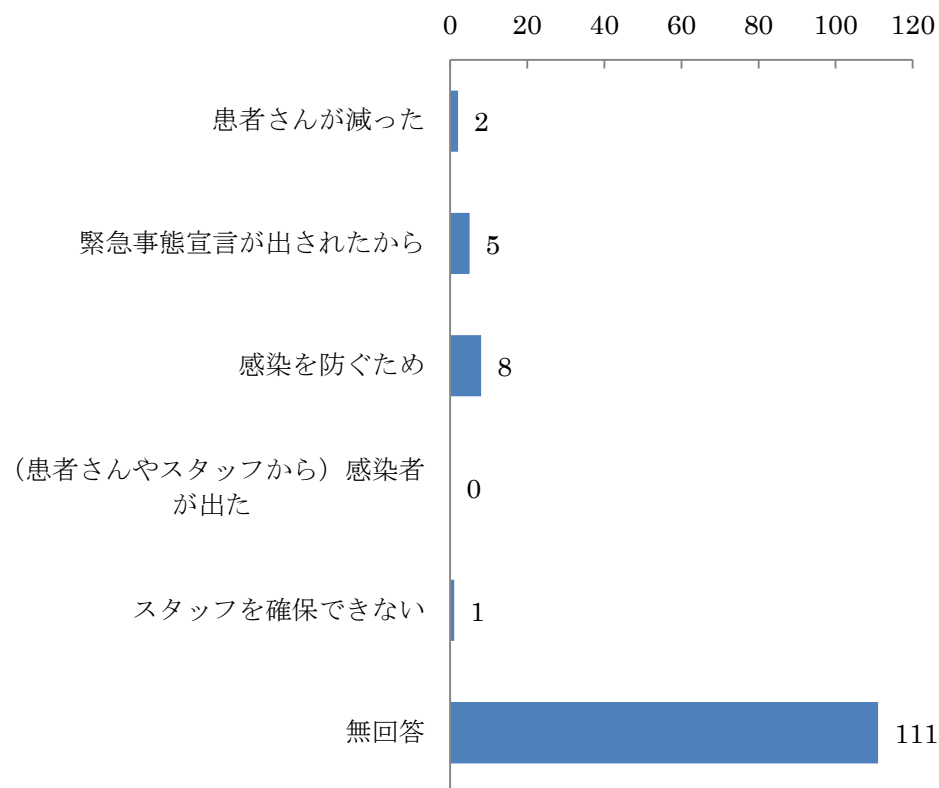
① 休診等の対応について (n = 124)



3. 診療の状況に関して

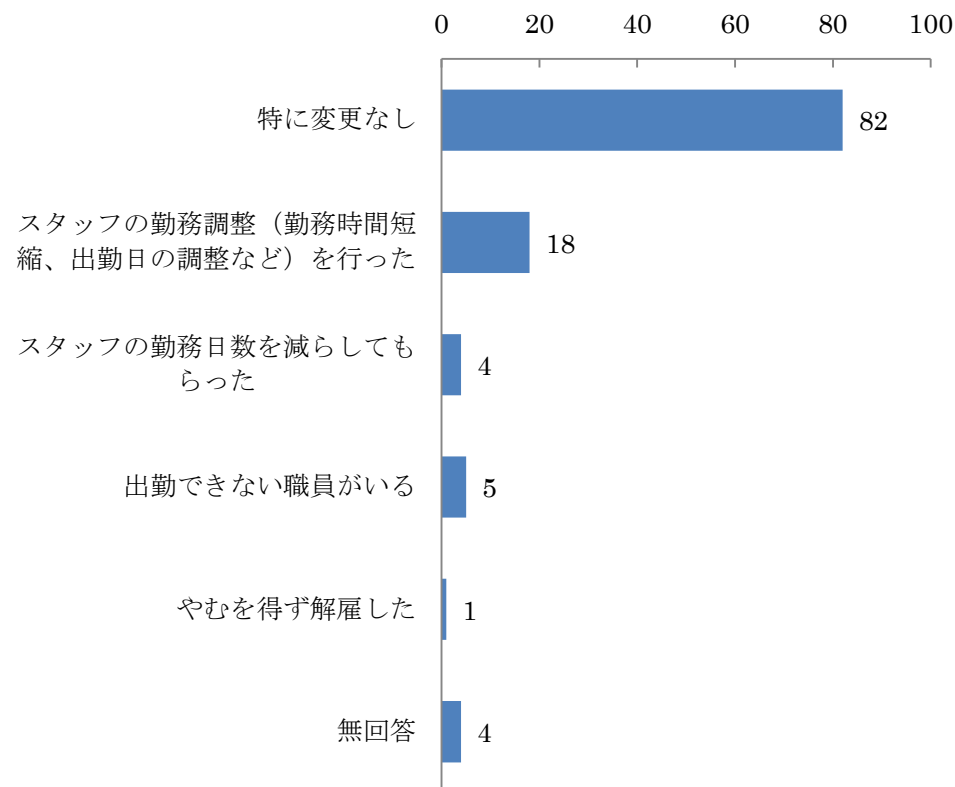
休診等を決めた理由について、「感染を防ぐため」が 8 件、「緊急事態宣言が出されたから」が 5 件、「患者さんが減った」が 2 件、「スタッフを確保できない」が 1 件であった。

② 休診等を決めた理由をお聞かせください（※複数回答可）



4. 医療機関スタッフの対応、勤務・出勤等の対応について（※複数回答可）

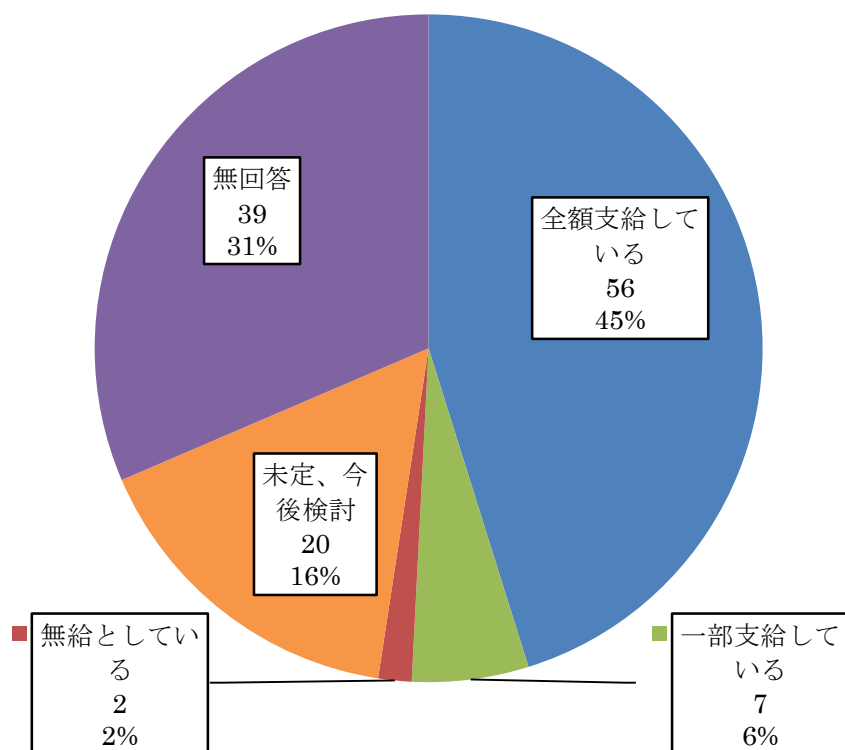
医療機関スタッフの対応、勤務・出勤等の対応について、「特に変更なし」が82件、「スタッフの勤務調整を行った」が18件、「出勤できない職員がいる」が5件、「スタッフの勤務日数を減らしてもらった」が4件、「やむを得ず解雇した」が1件であった。



5. 医療機関スタッフの勤務時間や日数を減らした場合の給与支払について

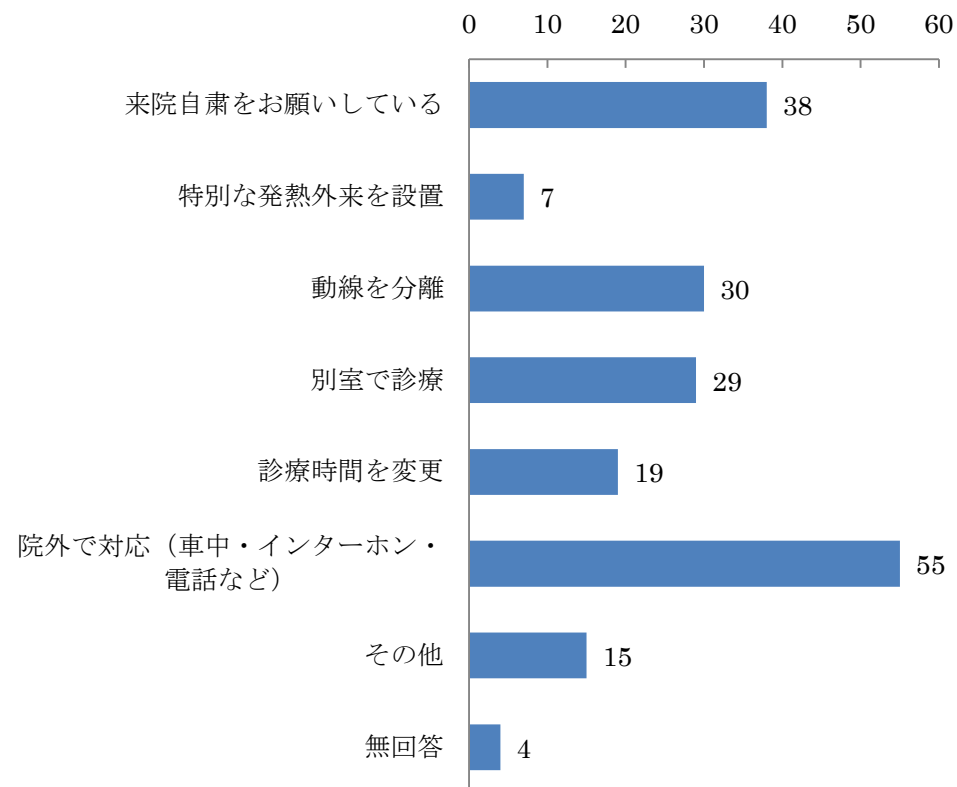
回答者のうち、「全額支給している」が 45%、「一部支給している」が 6%、「無給としている」が 2%、「未定、今後検討」が 16%であった。

(n = 124)



6. 発熱患者への対応（※複数回答可）

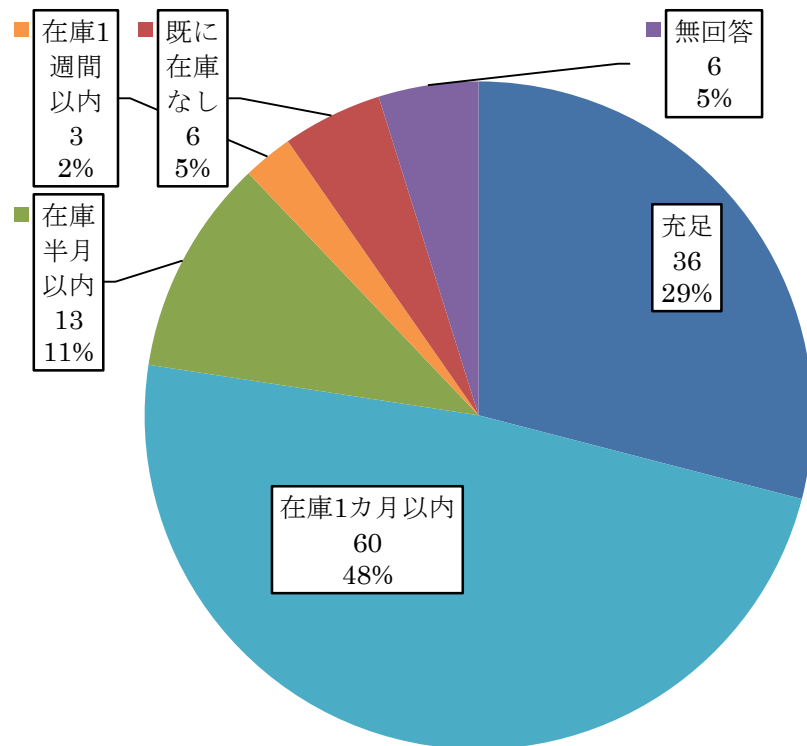
発熱患者への対応について、「院外で対応」が 55 件、「来院自粛をお願いしている」が 38 件、「動線を分離」が 30 件、「別室で診療」が 29 件、「診療時間を変更」が 19 件、「特別な発熱外来を設置」が 7 件であった。



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が29%、「在庫1カ月以内」が48%、「在庫半月以内」が11%、「在庫1週間以内」が2%、「既に在庫なし」が5%であった。

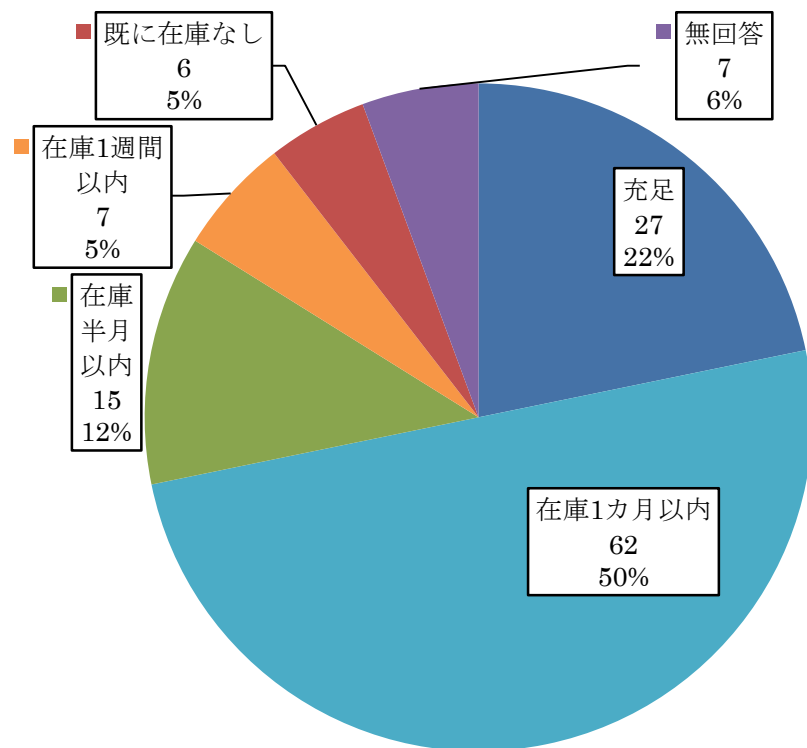
① 医療用マスク（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が22%、「在庫1カ月以内」が50%、「在庫半月以内」が12%、「在庫1週間以内」が5%、「既に在庫なし」が5%であった。

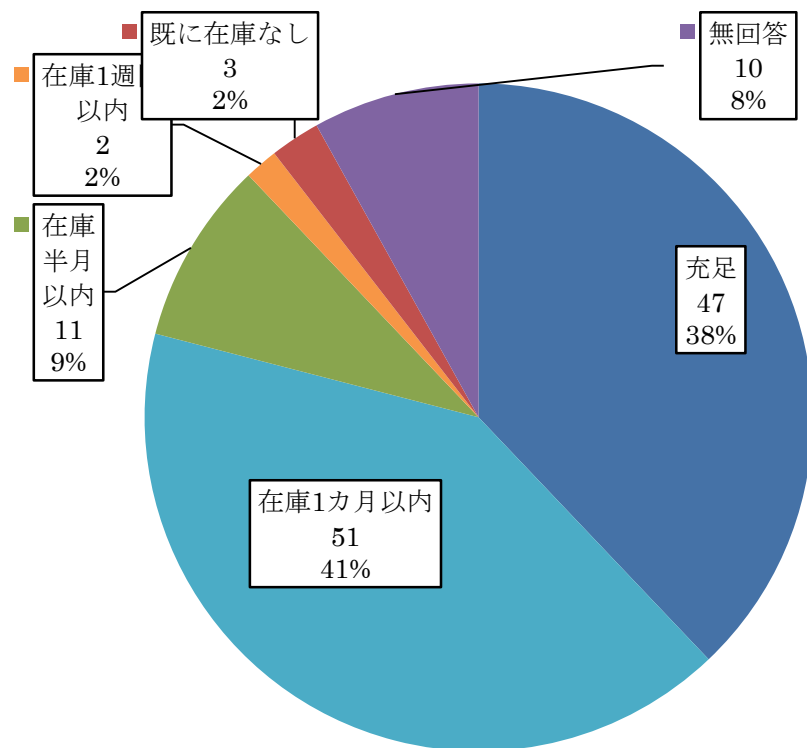
② 手指消毒剤（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が 38%、「在庫 1 カ月以内」が 41%、「在庫半月以内」が 9%、「在庫 1 週間以内」が 2%、「既に在庫なし」が 2%であった。

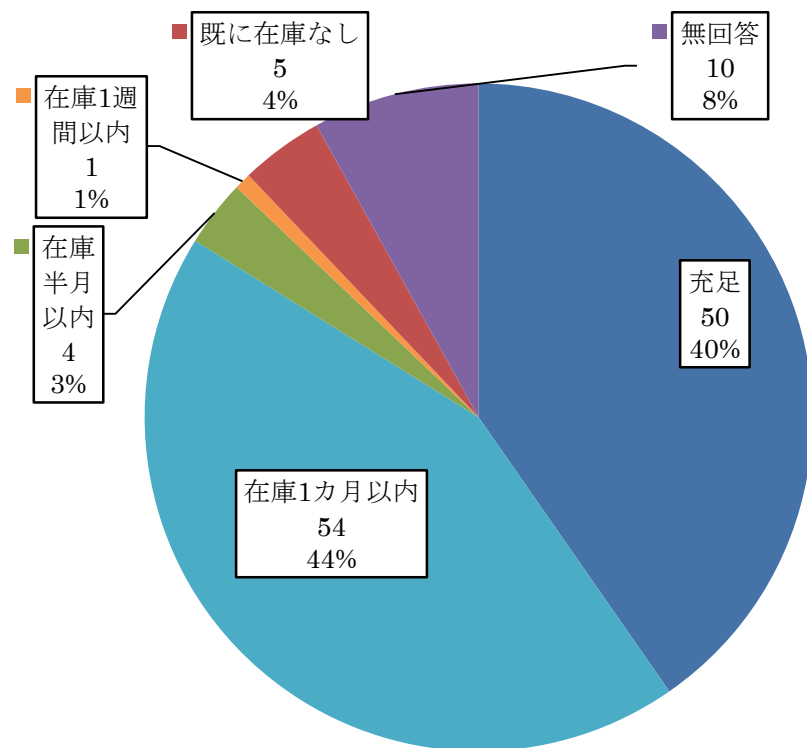
③ 機材消毒剤（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が40%、「在庫1カ月以内」が44%、「在庫半月以内」が3%、「在庫1週間以内」が1%、「既に在庫なし」が4%であった。

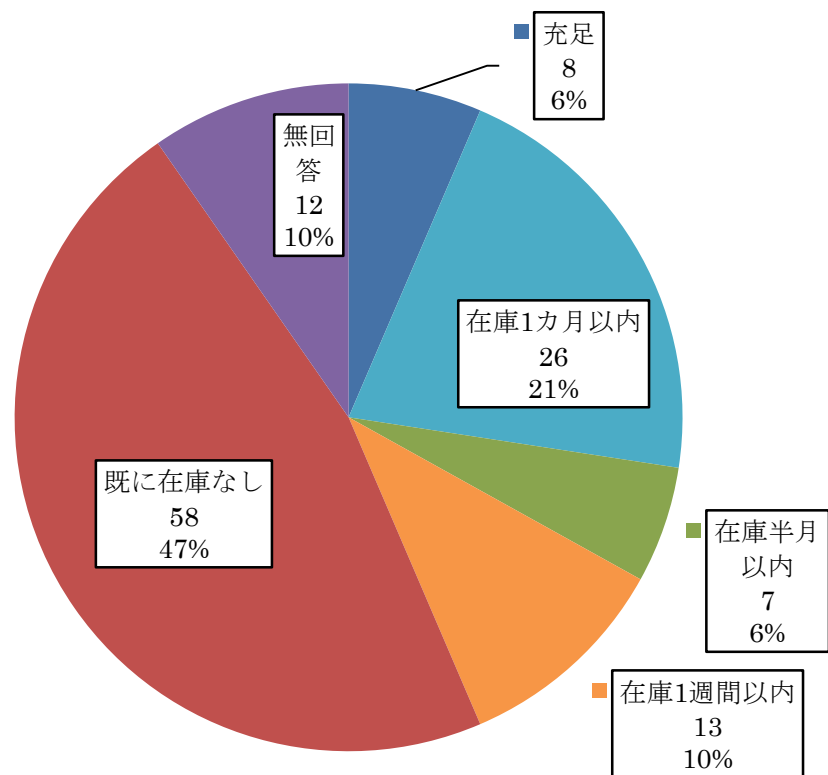
④ グローブ（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が6%、「在庫1カ月以内」が21%、「在庫半月以内」が6%、「在庫1週間以内」が10%、「既に在庫なし」が47%であった。

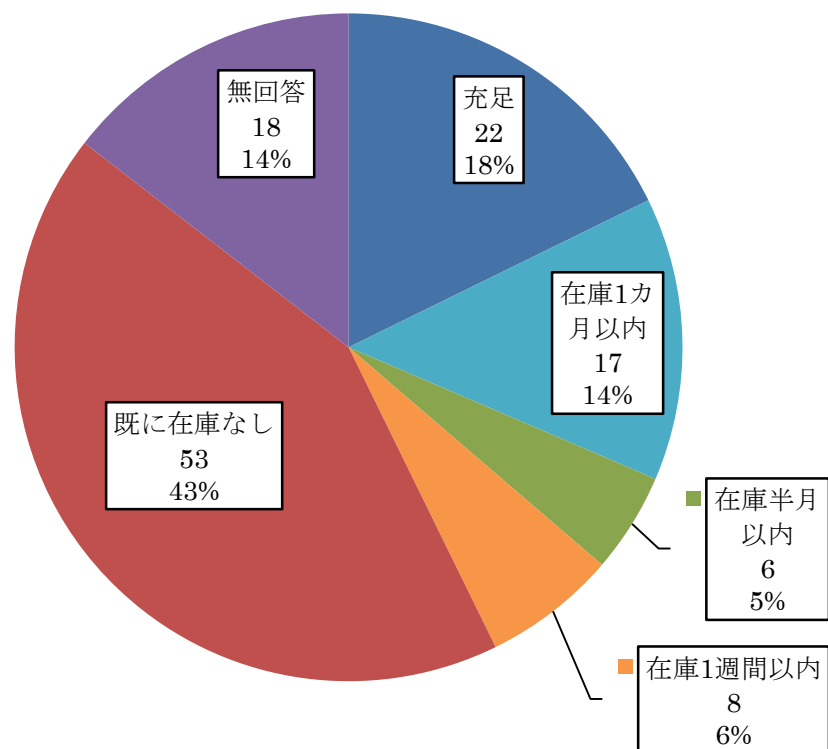
⑤ 防護服（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が 18%、「在庫 1 カ月以内」が 14%、「在庫半月以内」が 5%、「在庫 1 週間以内」が 6%、「既に在庫なし」が 43%であった。

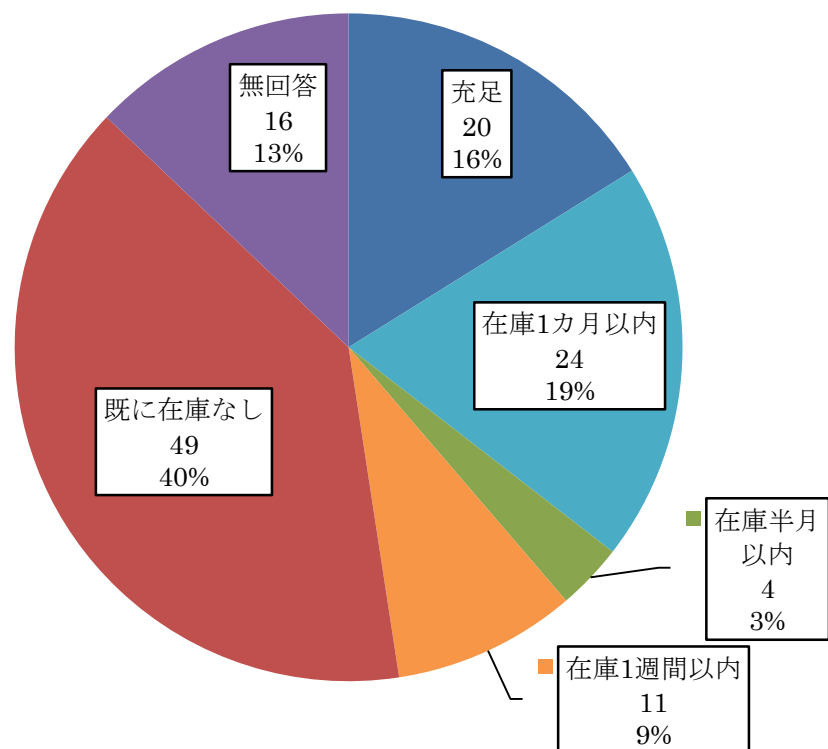
⑥ ゴーグル（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が16%、「在庫1カ月以内」が19%、「在庫半月以内」が3%、「在庫1週間以内」が9%、「既に在庫なし」が40%であった。

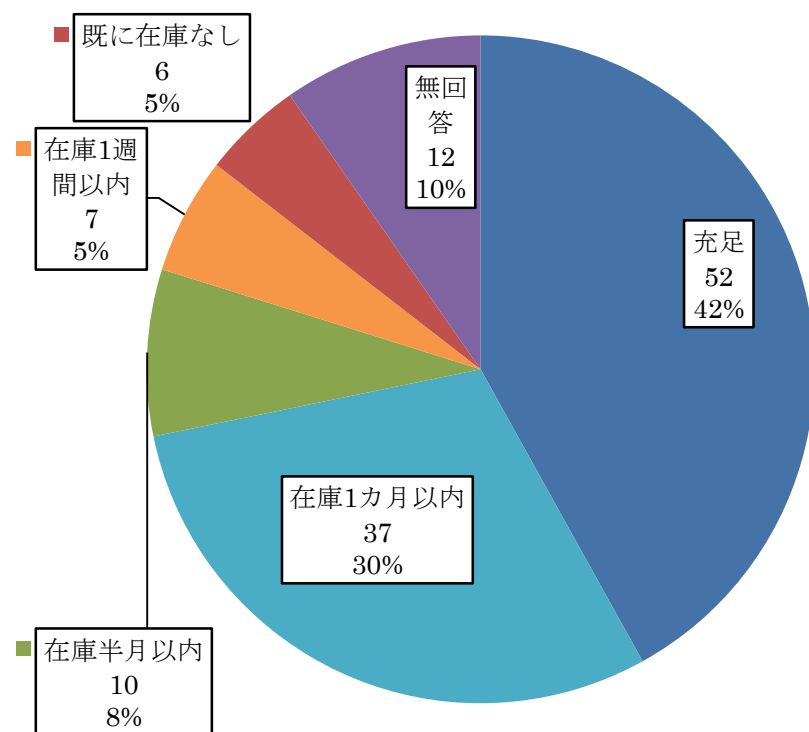
⑦ フェイスシールド（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

回答者のうち、「充足」が42%、「在庫1カ月以内」が30%、「在庫半月以内」が8%、「在庫1週間以内」が5%、「既に在庫なし」が5%であった。

⑧ 生理食塩水、精製水（n = 124）



7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

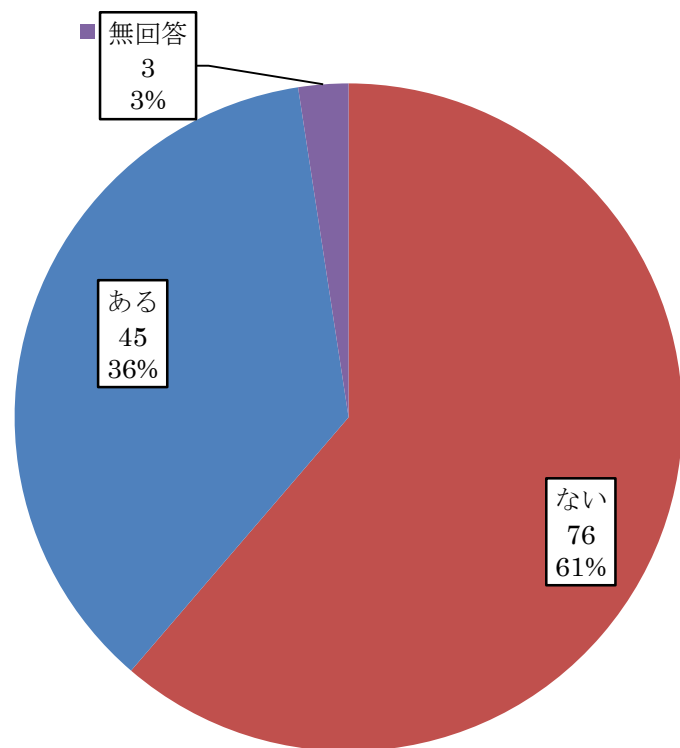
⑨ その他不足しているもの

- ・ イソプロアルコール、エタノール
- ・ ガーゼ
- ・ 不織布ガーゼ
- ・ 気管切開カニューレ（生産国の国内での lockdown にて輸入されてこないとの事）
- ・ 非接触体温計
- ・ N95 マスク

8. PCR検査について

回答者のうち、「ない」が 61%、「ある」が 36%であった。また、合計依頼件数について、114 件であった。

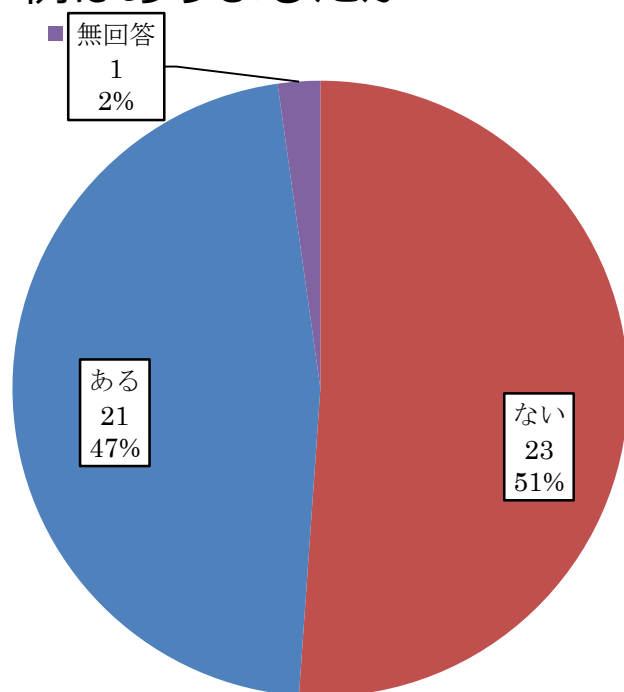
① PCR検査を依頼したことが (n = 124)



8. PCR検査について

PCR検査を依頼したことがある回答者のうち、「ない」が51%、「ある」が47%であった。また、合計拒否件数について、40件であった。

- ② PCR検査の必要性を指摘したにも関わらず、保健所・指定病院等から検査を拒否された事例はありましたか



8. PCR検査について

③ PCR検査について患者からの要望や、お気づきの点、お困りの点がありましたらご記入ください

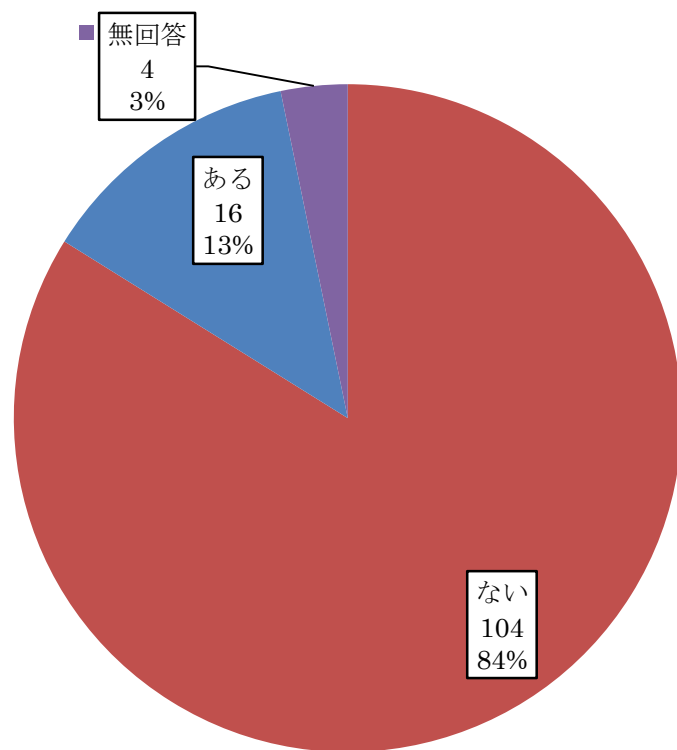
- ・ 保健所よりとりあえずレントゲンやインフルエンザ検査をしてもらうよう言われ来院する患者様多いです
- ・ 保健所へ consult すると「患者宅の Tel を教えて欲しい」と言われる。教えると患者に受診したくなくなるような誘導をして結局検査してもらえない（「調べに行つて陰性でも、そこで感染の可能性はあるけど行きますか」 etc）
- ・ 県外に行った県外から来た人と接触した人の発熱には検査を受けてほしい
- ・ 老人施設で発熱した人が数人続けてあり、保健所に電話をするよう伝えしたが、電話がつながらなかったと言われた
- ・ 患者から検査の依頼がしばしばあり、その都度ていねいに説明している
- ・ いずれも土曜日、検査可となるまでのやりとりして、時間・回数がかかる
- ・ 保険者・二次病院に断られたため当院受診の方が多い
- ・ 社会的要因で検査必要と考えても拒否される（例えば教職にある患者さんの感冒症状時）
- ・ PCR検査はドライブスルーで行わないと危険であることがわかった
- ・ 自分がコロナに感染していて他の人にうつしてしまわないか心配になった時PCR検査がもっと受けられるようにしてほしい
- ・ 保健所は基準に達しない（発熱4日以上とかの基準）として、基本的に検査はしないような対応である
- ・ すぐにできない結果に時間かかる
- ・ 3月中は伊勢地区医師会管内ではほぼ全例してもらえなかった。4月に入っても医師が必要と認めてもダメでした
- ・ PCRの結果に2-3日かかる。その間の透析に苦慮している

- ・明らかにPCRが必要であることを保健所に訴えても、つぶしにかかる。発熱外来の存在を他の医師会員におしえない
- ・肺炎患者1例のみ(4月)、PCR検査やっていただきました
- ・他自治体に比べ(例:大阪府)、結果報告まで1月遅い。大阪は翌日、名古屋は2-3日後
- ・基準を満たしてないと様子みるように言われる
- ・医師が必要と判断した場合はとにかく検査して欲しい!
- ・患者さん(検査を希望する)のリスクの判断ができない(報道されないので)
- ・特になし。スムーズに検査して頂き助かりました
- ・医療機関から直接PCR検査を行っている医療機関への紹介ができない
- ・スムーズに連携プレー出来ている
- ・診療所に問い合わせしても全くやる気がなく、診療所に責任を押しつけている。三重県がPCR陽性患者が少ない原因と思う
- ・PCR検査の実施を医師会が支配するようになってきている。これは誤った方向にいつてしまっている。医師全体が担うべき事案である

9. 新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか

回答者のうち、「ない」が84%、「ある」が13%であった。

(n = 124)



9. 新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか

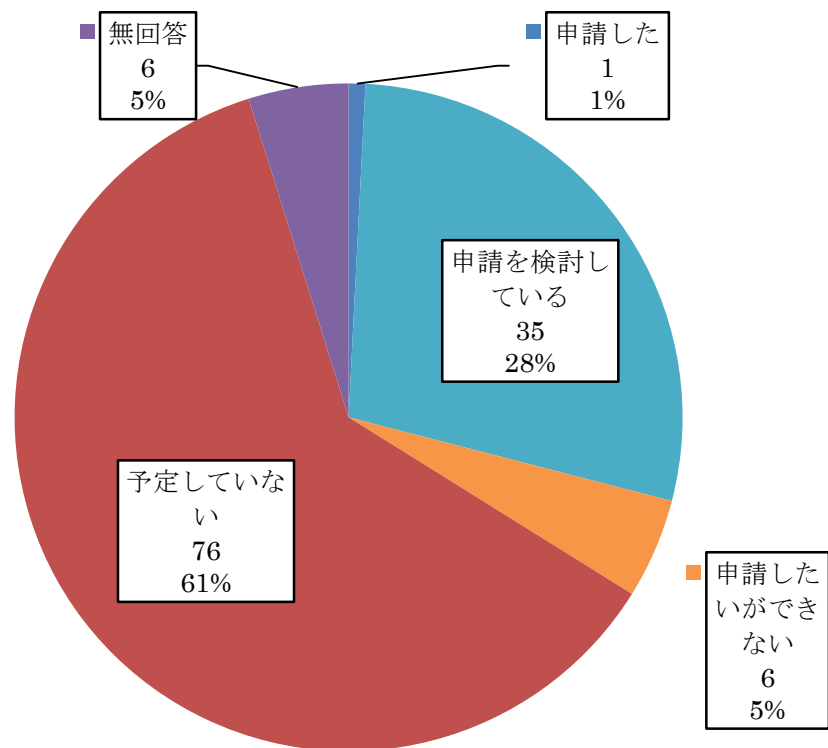
【具体例】

- ・デマが飛びかって電話で問い合わせがあり、完全否定した
- ・結核疑いなど他の感染症対策にて防御策をしていると”コロナ患者が入院しているらしい”受診控えをしたとの患者からの情報提供がありました
- ・高齢者・従来患者さんの発熱外来をスピーディーに運んだところ帰宅されたあとお嫁さんを通じ、冷たくされたとクレームを云われた
- ・病院内で感染者が出たとのうわさが広がり、患者数が激減した
- ・診療所に行くと covid-19 に感染すると思っている人がいる
- ・訪問看護、往診拒否。一部他施設への変更の要求
- ・みてもいないコロナウイルス患者（死亡例を含む）の診察をしたから院内が汚染されている可能性がある。私自身がコロナにかかって入院していた等々
- ・当院で新型コロナウイルスの患者が出た。保健所が消毒に来ていた。近隣でのコロナの患者が以前当院に通院していた。等々
- ・グーグル検索の予測項目で、クリニック名を入れると「コロナ」が出てくる
- ・来院患者数が半分になった
- ・自粛による電話等による診療（断）
- ・来院患者数の減少

10. 国・自治体等の助成金や融資について

回答者のうち、「申請した」が 1%、「申請を検討している」が 28%、「申請したいができない」が 5%、「予定していない」が 61%であった。

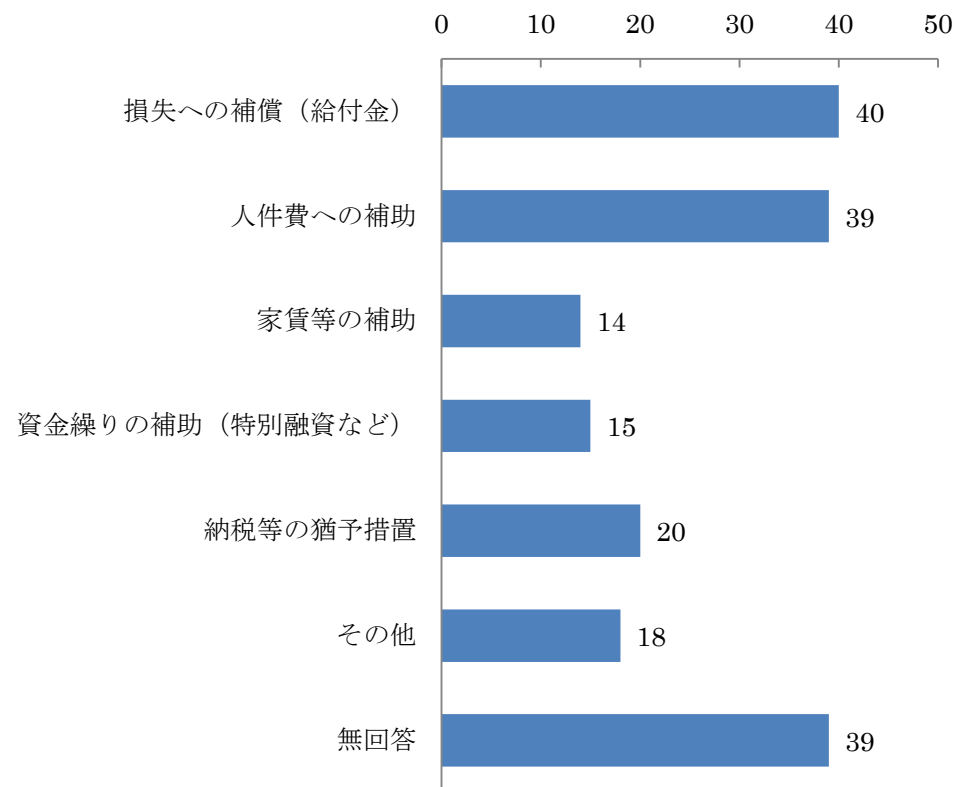
① 申請する予定はありますか (n = 124)



10. 国・自治体等の助成金や融資について

国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策について、「損失への補償」が40件、「人件費への補助」が39件、「納税等の猶予措置」が20件、「資金繰りの補助」が15件、「家賃等の補助」が14件であった。

② 国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策（※複数回答可）



11. コロナ感染拡大に伴う診療対応や感染防止対策、医院経営、スタッフの雇用などでの不安やお困りごと、その他、行政への要請、保険医協会・医会、保団連へのご要望等がありましたらご記入ください

- ・今後の状況によって、経営が難しくなるか不安あります
- ・検査の gating を電話対応事務職員にしてもらいたくない。“医師の判断”が全く無視されている
- ・賃貸料に苦慮している
- ・PCR検査をもう少し対応がスムーズに受けられる事を望む
- ・衛生用品（特にマスク）の供給が不安定で難渋しています
- ・感染症PCRセンターなど従来より準備すべき大規模災害も含め危機管理について、行政も医師会もスピード感がない
- ・医薬品、衛生用品の供給が病院優先。診療所は後まわしというのが困る。不足物質の代用品を他社に依頼するとこれまで取り引きなしとの理由で断られる
- ・先が見えにくい。第2波にむけ早い指針の作成と行動の準備をしてほしい
- ・救急医療に協している医療機関に対して優先的に資材を回しい欲しい
- ・スタッフは感染の危険がありながら勤務しており、助けられます。患者数が半分～それ以下の日も多くなっており、長期化すると今後の経営に大きな不安が出てきます
- ・（マスクと消毒衛生材料）が無い為、感染症対策が機能しない。マスクは洗い、消毒液はうすめている
- ・電話再診などについて、現行の点数では納得できない。充分に問診、指導を行っている。外管、特管などの点数に見合ったものが必要

- ・収入減。医療材料の不足。PCRセンターを独立させてほしい
- ・4月後半はかなり患者がへった。印象では半分以上まで。オンライン診療は点数が低いし、小児科としてはあまり使用できずしたくないが他院でたくさんされると患者が流れてしまうのがこわい
- ・アルコール消毒液の不足
- ・透析クリニックにおいて、医師看護師が感染した場合、補充するシステムがはっきりしていないところが不安
- ・地区（医師会単位？）で感染者入院（重症）（軽～中等症）、PCR結果まちの待機、感染疑いの外来と役割分担して、対応できるとよい。一般開業医院は一部閉鎖してでも、病院や、感染者対策への協力をすべきと思う
- ・国にだけまかしておけない異常事態である事がわかっていてもしっかり“かじ”をとれない人達なので、このままでは、日本は死んでしまいますよ。真実が伝えられない国民の心はすでにパンクしているかもしれませんね
- ・主にマスクが足りません
- ・感染不安を理由に退職したスタッフの補充ができず困っている
- ・毎月の借金返済に困らないか心配資金がショートする可能性あり
- ・スタッフは責任感を持って必死で対応してくれているが、やむを得ず休診となった場合の給与保障等
- ・スタッフ、医療従事者に感染が出た場合の対応が不安。（休診せざるを得ない）
- ・助成金の方法が複雑でわかりにくいので困っている
- ・色々考えています
- ・経営が苦しくなった。閉院も考えている
- ・早急な適合薬、特記すべき効果のある効果のある薬品の開発を望みます
- ・コロナ院内感染で閉院時の休業補償
- ・コロナによる診療敬遠が強くなっており、今後の診療所の存続を心配しています。政府の対策がトンチンカンであり、医療機関に対

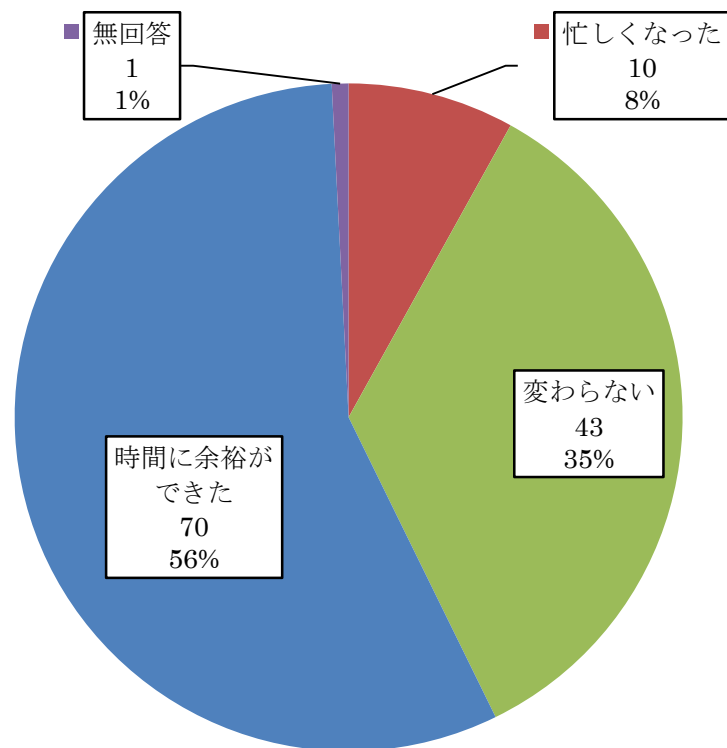
するバックアップが非常に乏しい。コロナ感染のリスクが高いと思われるが、それに伴う保障がない。今後スタッフを今まで通り雇用し続けるのが難しいと思う

- ・スタッフが感染をこわがり、通常時間どおりの勤務に対する不満が出ている。何の補償もなく、自しゅくできない事への不満
- ・とにかく消毒剤（手指、機材）、マスク、グローブ、ガーゼ、体温計（非接触タイプのもの）を注文しても、もう3ヶ月ですが納品ない。今では注文を受けてもらえず、困っています。オンライン診療はどのように導入すればよいかわかりません

12. 勤務状況の影響（1月以降）

回答者のうち、「忙しくなった」が8%、「変わらない」が35%、「時間に余裕ができた」が56%であった。

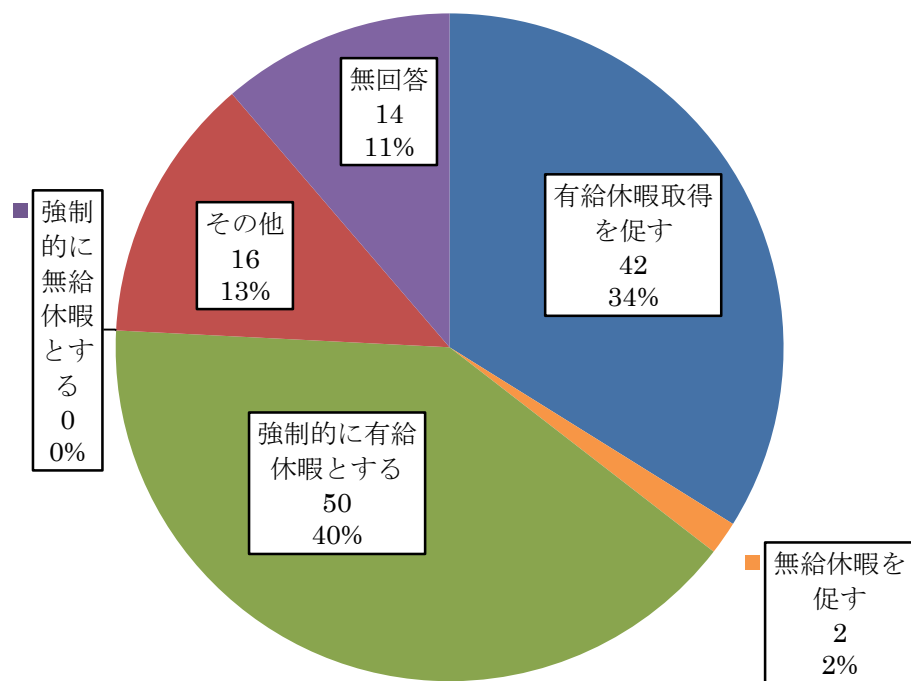
(n = 124)



13. 新型コロナウイルスの感染が疑われる医療機関スタッフへの対応について

回答者のうち、「有給休暇取得を促す」が 34%、「無給休暇を促す」が 2%、「強制的に有給休暇とする」が 40%であった。

(n = 124)



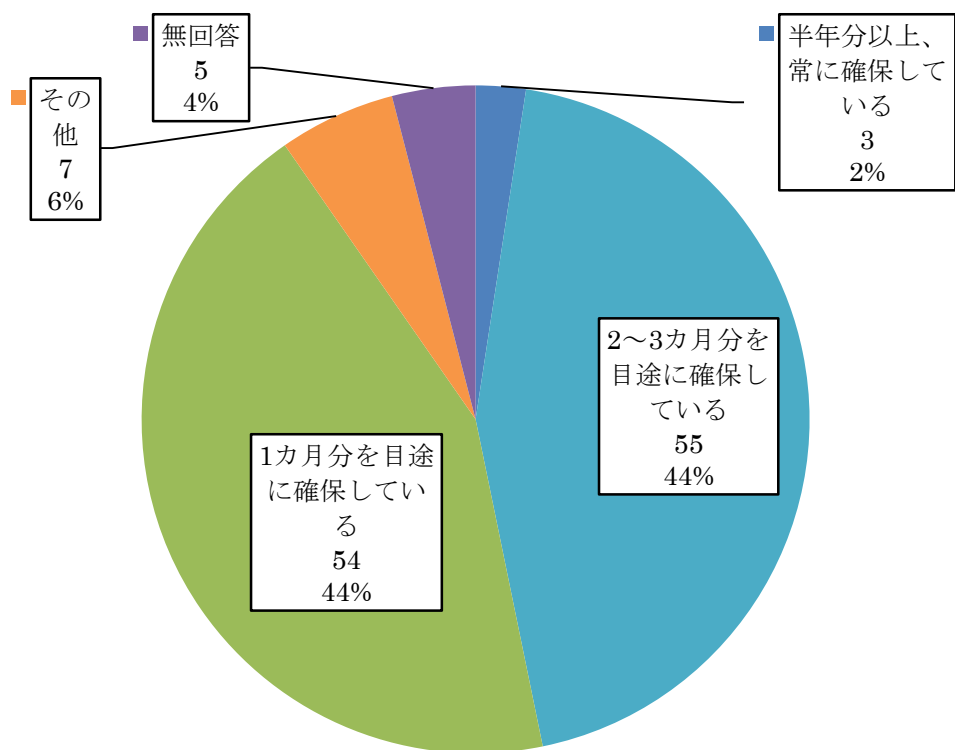
【その他（記述）】

- ・決めていない
- ・パートなので出勤させない
- ・休業要請（有給）とする
- ・その都度の状況だが休暇とする
- ・追加の有給で対応
- ・本人の希望があれば有給休暇を使用する
- ・有給休暇あつかいではない有給での休みも考えている

14. 普段の医薬品や衛生用品等の在庫状況について

回答者のうち、「半年分以上、常に確保している」が2%、「2～3カ月分を目途に確保している」が44%、「1カ月分を目途に確保している」が44%であった。

(n = 124)



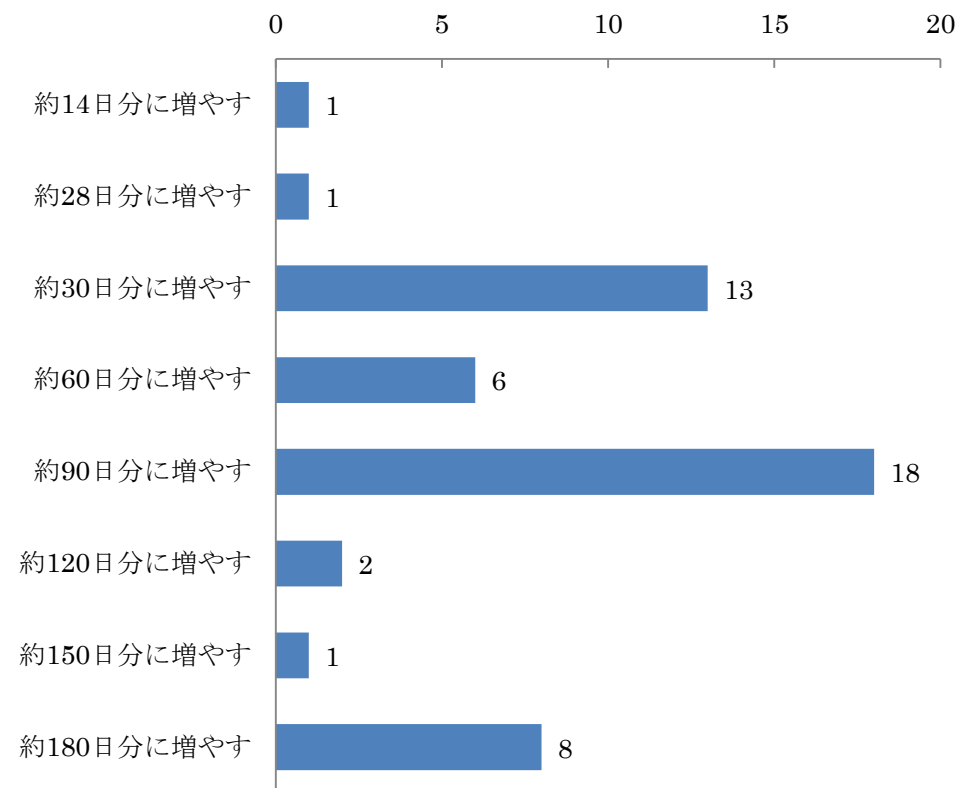
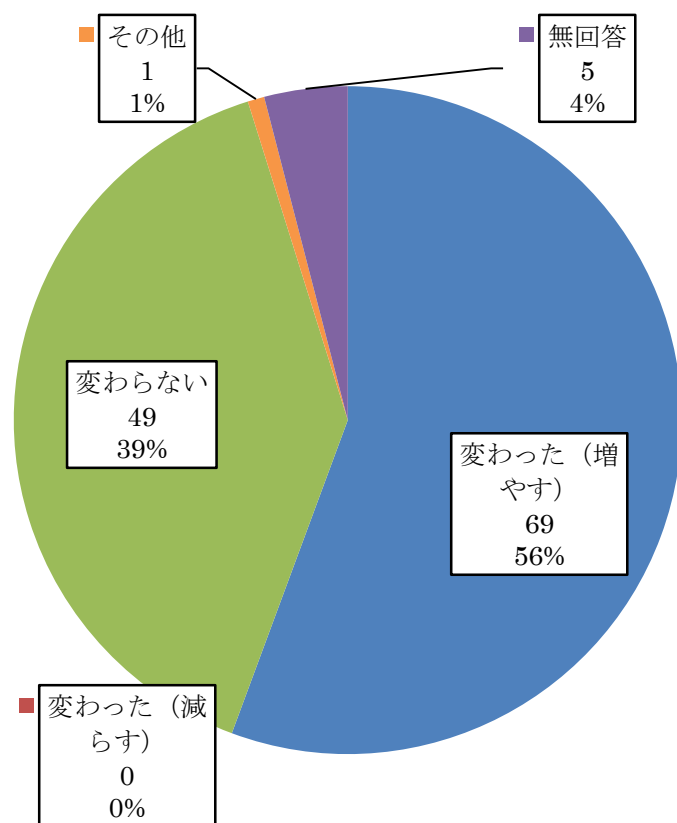
【その他（記述）】

- ・物資によって半月～1年
- ・その都度注文
- ・1～2週間
- ・特に決まっていない

15. 持続可能な診療のための医薬品や衛生用品等の備蓄意識

回答者のうち、「変わった（増やす）」が 56%、「変わらない」が 39%であった。「変わった（増やす）」回答者について、「約 90 日分に増やす」が 18 件、「約 30 日分に増やす」が 13 件、「約 180 日分に増やす」が 8 件、「約 60 日分に増やす」が 6 件であった。

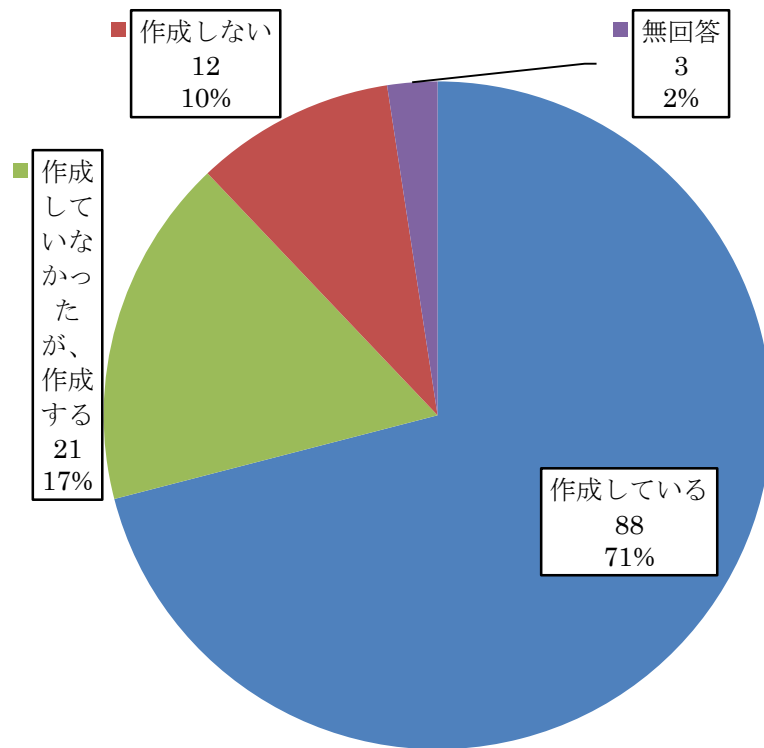
(n = 124)



16. 感染症対策のマニュアル

回答者のうち、「作成している」が 71%、「作成していなかったが、作成する」が 17%、「作成しない」が 10%であった。

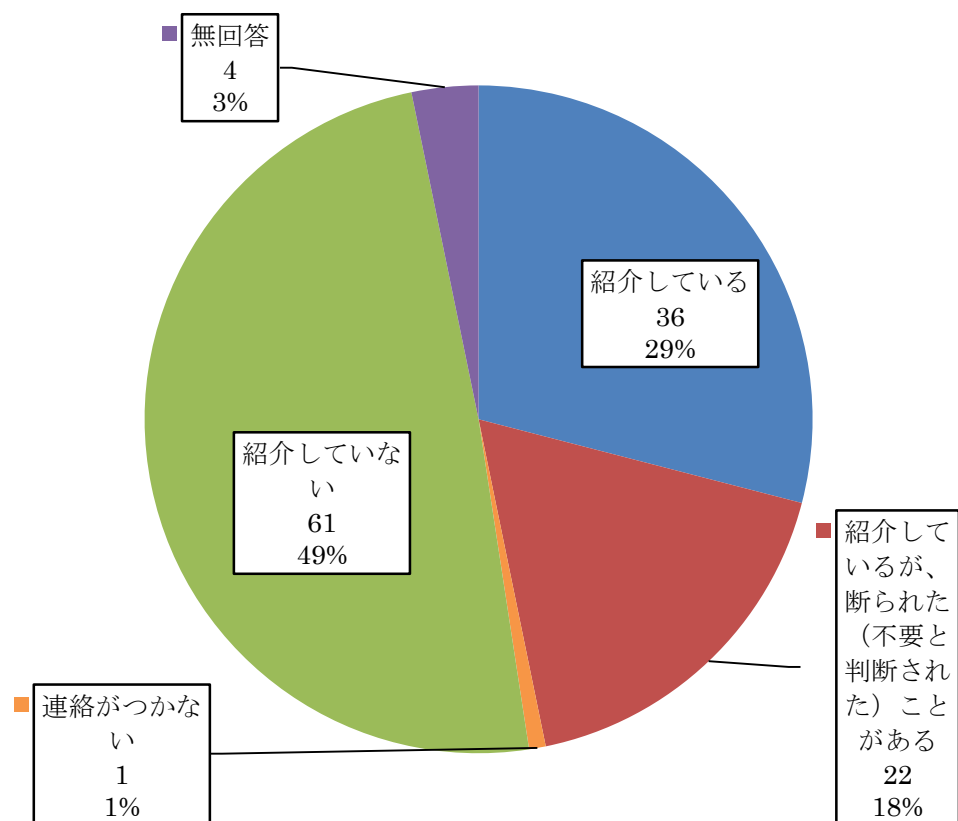
(n = 124)



17. 保健所への紹介

回答者のうち、「紹介している」が 29%、「紹介しているが、断られたことがある」が 18%、「連絡がつかない」が 1%、「紹介していない」が 49%であった。

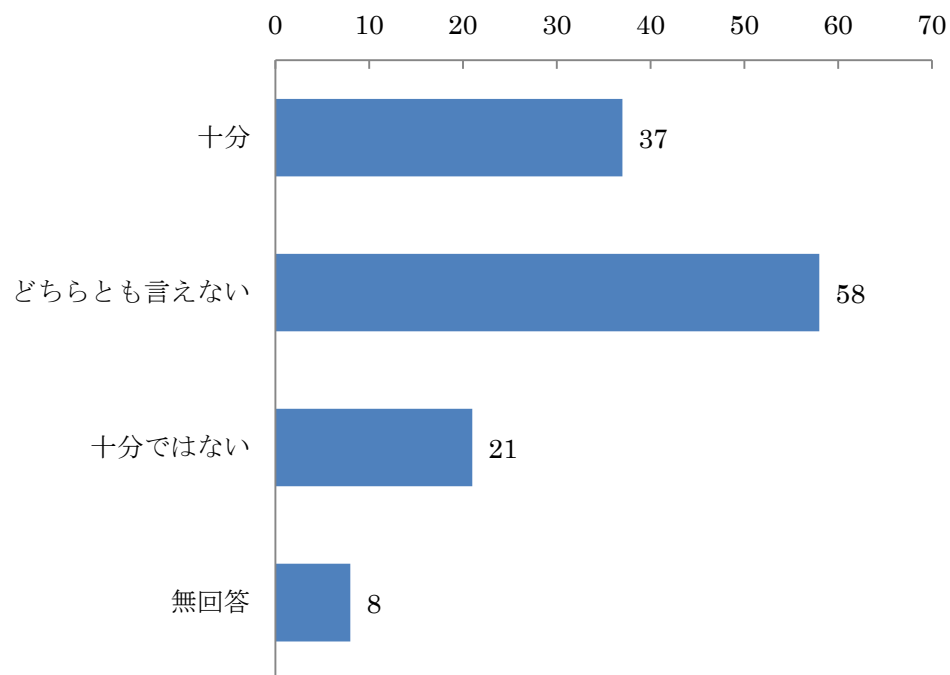
(n = 124)



18. 新型コロナウイルス感染症の情報入手および情報入手先について（複数回答可）

情報入手について、「どちらとも言えない」が 58 件、「十分」が 37 件、「十分ではない」が 21 件であった。

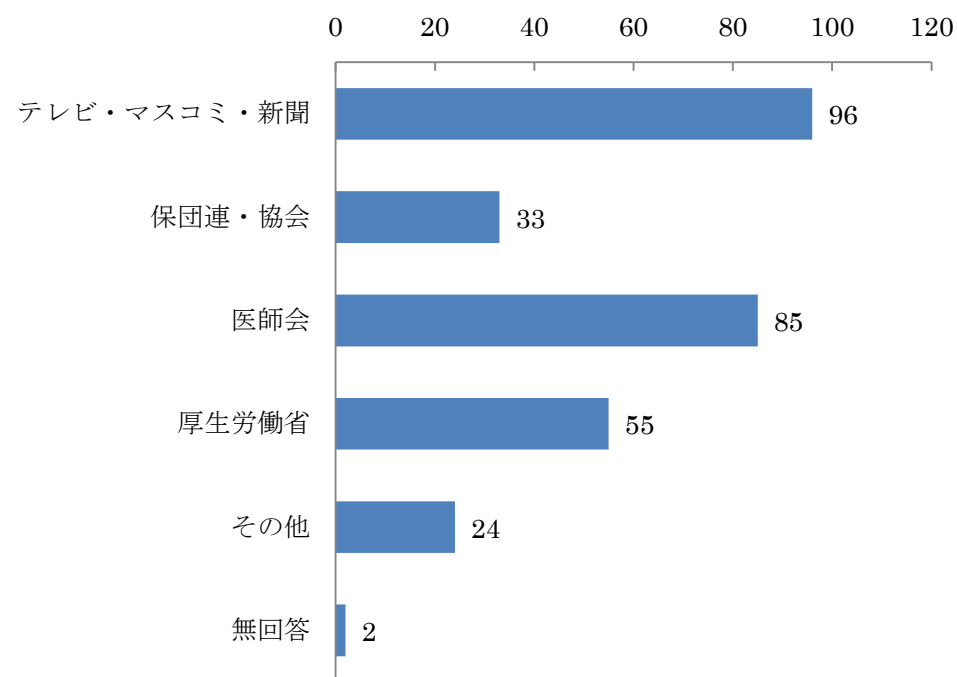
① 情報入手について



18. 新型コロナウイルス感染症の情報入手および情報入手先について（複数回答可）

情報入手先について、「テレビ・マスコミ・新聞」が96件、「医師会」が85件、「厚生労働省」が55件、「保団連・協会」が33件であった。

② 情報入手先について



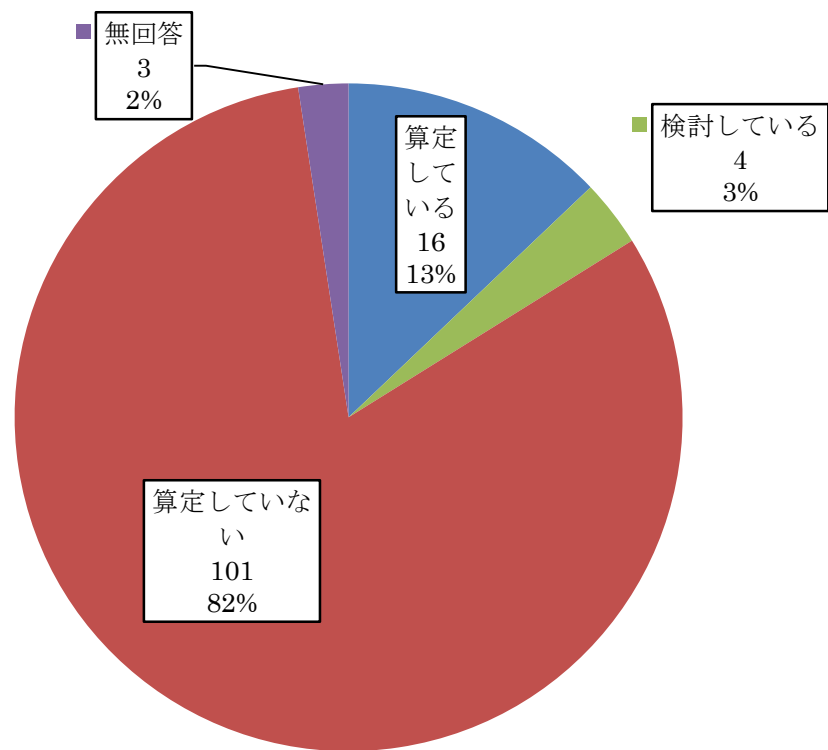
【その他（記述）】

- ・医療サイト M3.com Care net
- ・医師グループのSNS
- ・信頼できる友人のFB 論文
- ・インターネット
- ・友人のウイルス学者
- ・日経のネットメディカル 学会からの情報
- ・メール等
- ・三重県
- ・ネット講習会

19. 院内トリアージ実施料を算定していますか（1月以降）

回答者のうち、「算定している」が 13%、「検討している」が 3%、「算定していない」が 82%であった。

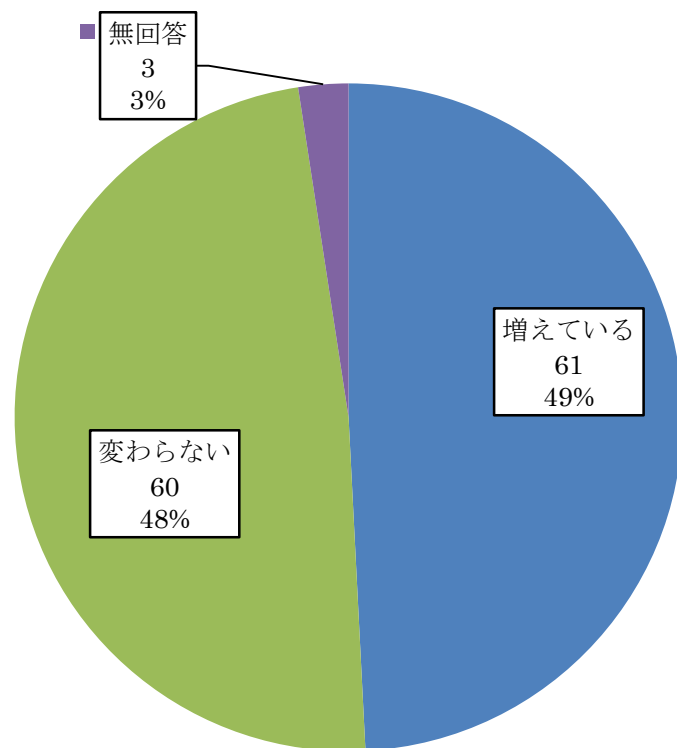
(n = 124)



20. 電話等再診料の算定は増えていますか（1月以降）

回答者のうち、「増えている」が49%、「変わらない」が48%であった。

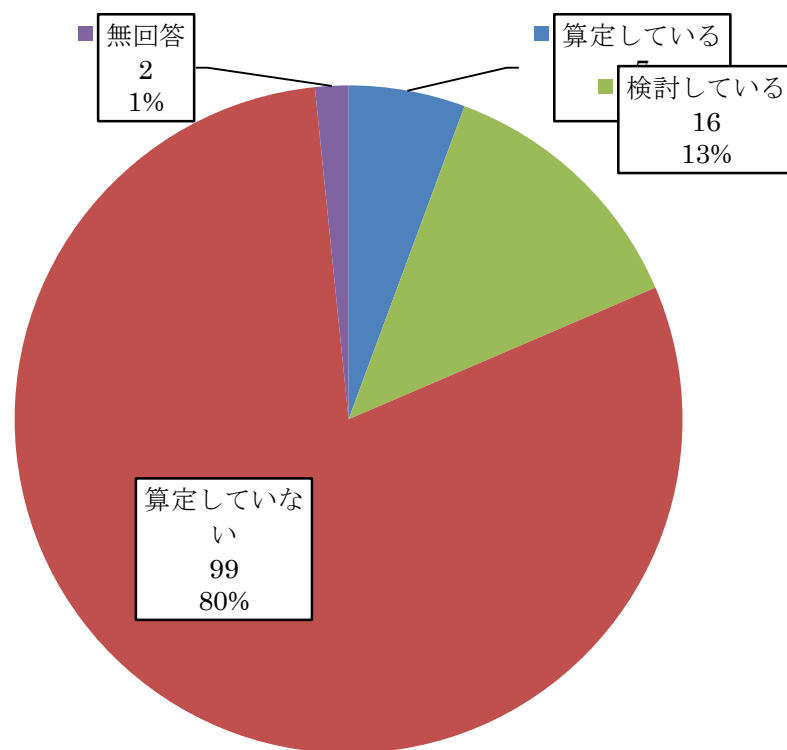
(n = 124)



21. オンライン診療料を算定していますか（1月以降）

回答者のうち、「算定している」が 6%、「検討している」が 13%、「算定していない」が 80%であった。

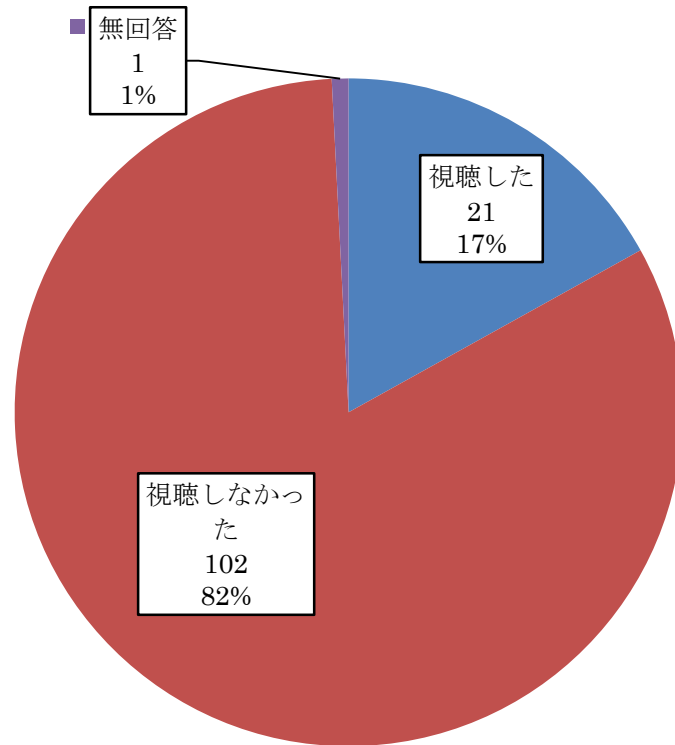
(n = 124)



22. 新点数説明検討会の中止の代替としての動画配信について

回答者のうち、「視聴した」が17%、「視聴しなかった」が82%であった。

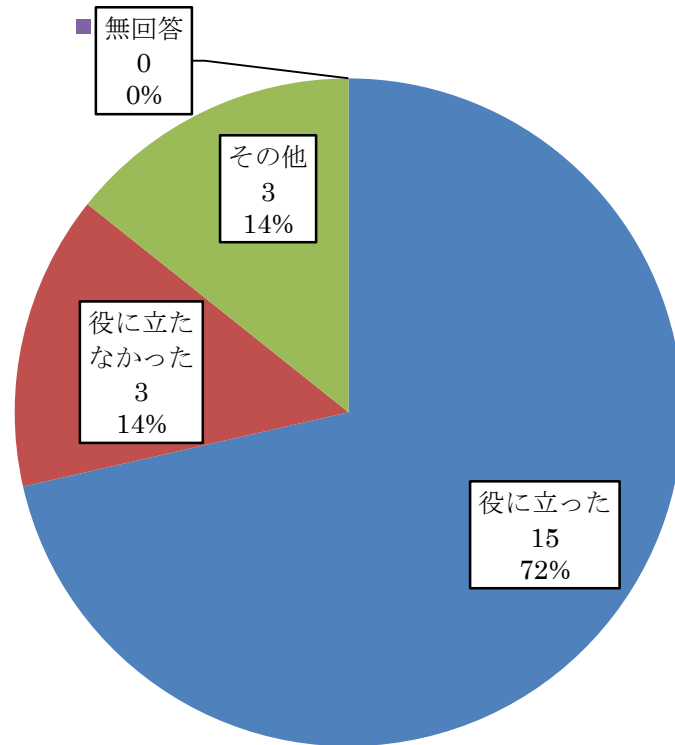
① 動画配信について (n = 124)



22. 新点数説明検討会の中止の代替としての動画配信について

動画配信を視聴した回答者のうち、「役に立った」が72%、「役に立たなかった」が14%であった。

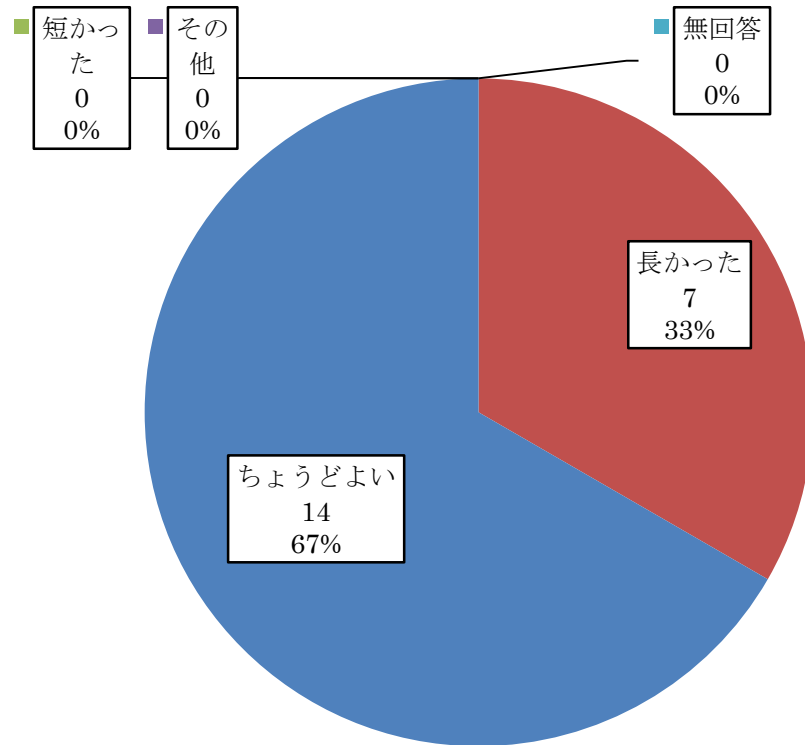
② 内容はいかがでしたか (n = 21)



22. 新点数説明検討会の中止の代替としての動画配信について

動画配信を視聴した回答者のうち、「長かった」が 33%、「ちょうどよい」が 67%であった。

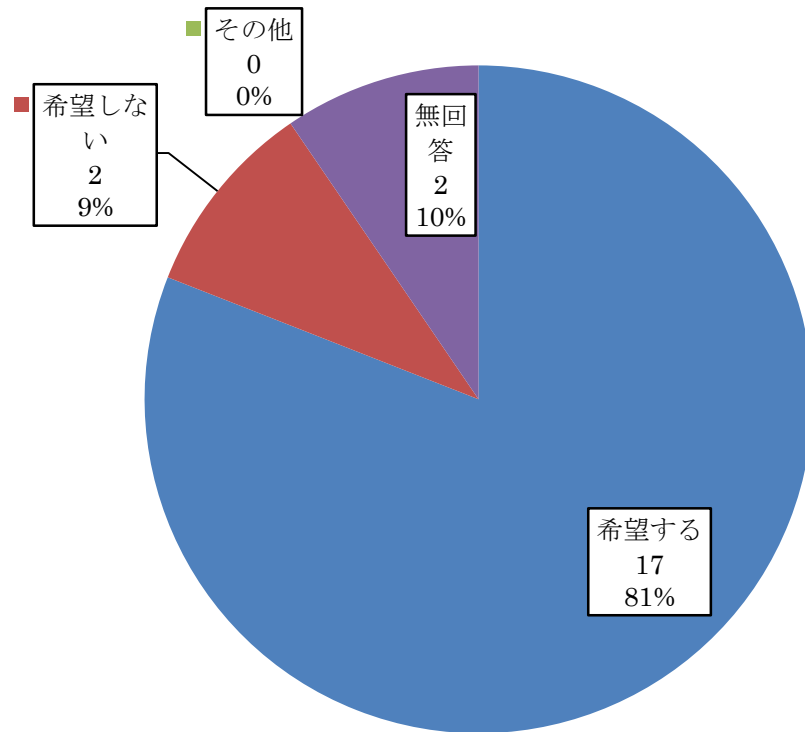
③ 収録時間はいかがでしたか (n = 21)



22. 新点数説明検討会の中止の代替としての動画配信について

動画配信を視聴した回答者のうち、「希望する」が81%、「希望しない」が9%であった。

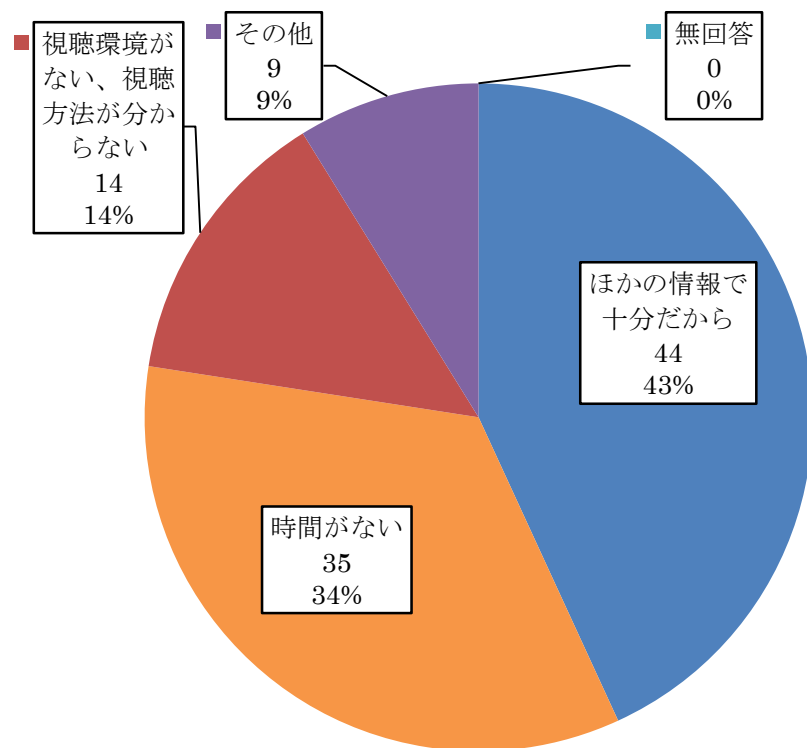
④ 今後も動画配信やDVDを希望しますか (n = 21)



22. 新点数説明検討会の中止の代替としての動画配信について

動画配信を視聴しなかった回答者のうち、「ほかの情報で十分だから」が43%、「時間がない」が34%、「視聴環境がない、視聴方法が分からない」が14%であった。

⑤ 視聴しない理由として (n = 102)



22. 新点数説明検討会の中止の代替としての動画配信について

ほかの情報について、「保団連・協会の書籍」が33件、「保団連・協会の新聞」が5件、「医師会の情報」が23件、「厚生労働省の情報」が12件であった。

⑥ ほかの情報とは何ですか (n = 44)

